潜在を顕在化する
奇跡のツール 「StiLL」

第11回
「StiLL事例研究フォーラム」

2010/3/19

共催
株式会社imaoソフト
トーテックアメニティ株式会社
アスプローバ株式会社
株式会社 アイエルアイ総合研究所

■□ 「StiLL事例研究フォーラム」プログラム □■

■はじめに　アイエルアイ総合研究所 内藤 慶一	13:30 –	13:35
	13:35 –	14:25
第一部　ユーザー&ソリューション事例紹介		P 1～8
■ユーザーソリューション事例1　株式会社imaoソフト		
◆製造コンサル企業のシステムソリューション		
・「StiLL-X」による日報からの請求書自動発行　その他ソリューション事例 「山崩し」、「Excelジェネレータ」		
①導入の経緯と自社開発の概要 ②作成プロセスとその評価について ・Q&A		
～休憩（15分）～	14:25 –	14:40
■ソリューション事例2 生産管理連動ソリューション　トーテックアメニティ株式会社	14:40 –	15:10
◆ TPICS-X連動 生産ダッシュボード ＋ 「StiLL-X」による自在型入出力事例		P9～14
①システム概要紹介 ②作成プロセスとその効果について ・Q&A		
◆ TPICS-X連動 生産計画ソリューション　アスプローバ株式会社 ＋ 「StiLL-X」計画シミュレーションダッシュボード構築	15:10 –	15:40
①システム概要紹介 ②作成プロセスとその効果について ・Q&A		P17～24
～休憩（15分）～	15:40 –	15:55
第二部　StiLL研究・ユーザー事例　株式会社アイエルアイ総合研究所		
■「StiLL」とは	15:55 –	16:35
■「StiLL」ユーザーソリューション事例 株主総会サポートシステム		P25～32
・Q&A		
■「StiLL-X」新機能　機能紹介	16:35 –	16:40
「StiLL-X」で作成する集計プログラムの実際　Excelデータ集計・CSVデータ集計・DBデータ集計		P34～38
StiLLオプションプログラム紹介 ・Q&A	16:40 –	16:45
「定期コンタクトメール」のご案内と使い方		P39～48
■おわりに		
■個別相談コーナー		
（主催各社の担当に、システムやソフトの詳細等を直接ご質問いただけます）	16:45 –	17:00

～フォーラム終了～

アライアンスシステム構築について
“夫々の実力を活かし補完する”

ビジネスシステム構築アライアンス

お客様

■生産管理+
情報系システム構築

お客様
システム提供
相互
補完関係!

同じ方向を向き
得意とするところが違う4社。
連携してお客様にいいものを
安くシステム提供!!!

IMAOソフト

■SIer
StiLLパートナー
コンサルティング
システム構築&サポート

トーテック
アメニティ
株式会社

■生産管理
ITコンサル･コーディネート
BI KPI コンサル等

株式会社
アイエルアイ総
合研究所

■「StiLL-X」
Excelプラットフォーム
プログラム開発ツール
「StiLL Xcelsius」

アスプローバ
株式会社

■生産スケジューラ
「*Asprova* APS」
BI KPI コンサル等

本日のテーマ

どんなソリューションを実現できるのか?

ご確認下さい。

共催
株式会社IMAOソフト
トーテックアメニティ株式会社
アスプローバ株式会社
株式会社アイエルアイ総合研究所

◆ビジネステンプレート事例紹介Ⅰ◆

システム名　「請求書自動発行システム」　伝票から請求書発行まで
・・・・StiLLを活用した低コストースパイラル型開発

会社名　　株式会社 imaoソフト
業種　　ソフトウェア開発、運用業

■システム概要

＜背景と狙い＞
顧客は長年T自動車会社にお勤めの方々のスキルを他業界の客先にご紹介していく企業です。業務上、出張が多く経理での出張清算と該当月の請求が月末に集中して月末時における残業の発生と発行請求書の精度に課題が発生していました。

当初、JAVAによる開発が行われましたが、開発に行き詰まり、設計プランを根本的に見直す処から、弊社主催の仕切り直しによる開発着手となりました。自社の業務にマッチ、かつ安価な費用で請求書発行システムを導入したいというニーズに対し、それまでの開発で課題となった要因をピックアップした処、日々の日次処理における経理部門のExcel表入力が非常に詳細に営業報告を細分化して転記していることが明確になり、このロジックをシステムとして具現化するにはStiLL以外にないと判断し、開発言語を選定しました。

「請求書自動発行システム」システムの開発にあたっては、要件定義で顧客側が詳細機能を求めている点が把握できたので初期画面構築後、スパイラル開発にてカスタマイズが容易なシステムを提案できることを目指しました。　　※スパイラル型開発

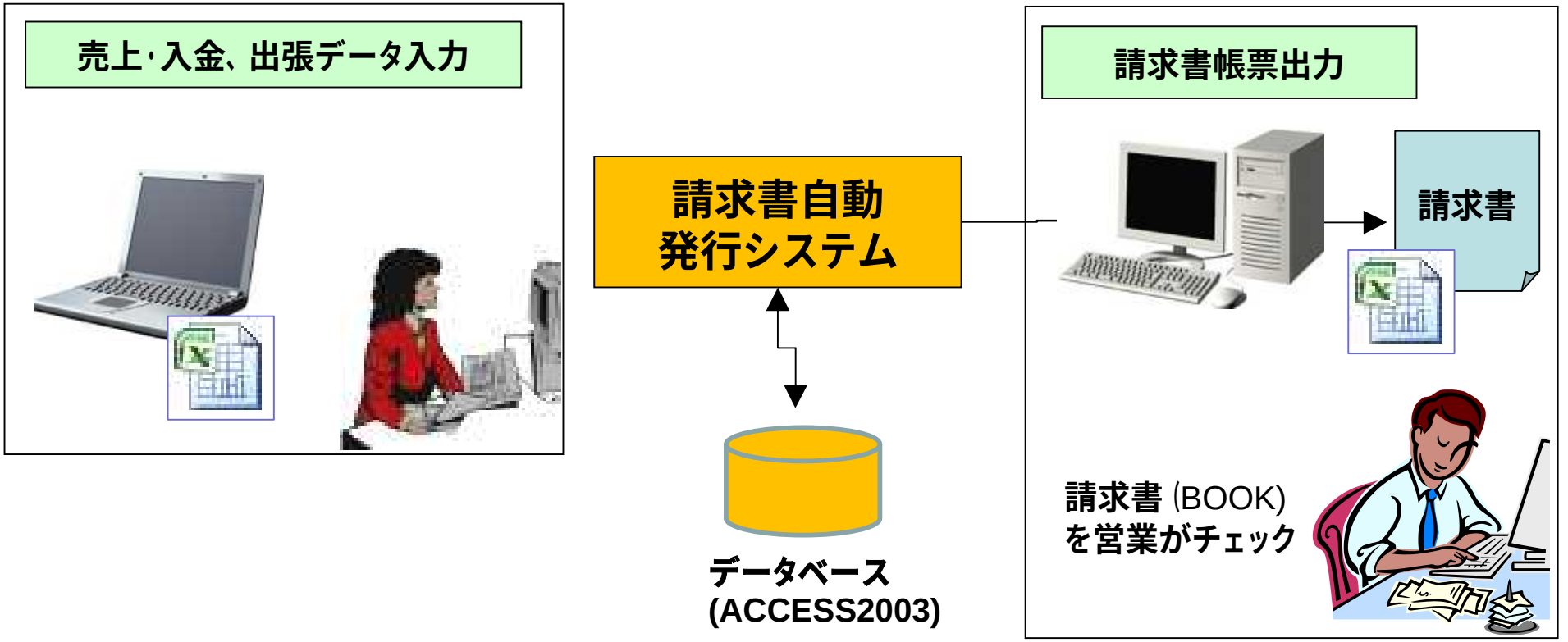
★ポイント
・Excelをプラットフォームにすることで、カスタマイズしやすいプログラム構造とする。
・Excel・ACCESSの連携をStiLLで行うことにより、構築・保守をしやすくする。

■システム概要:　請求書自動発行システム　2003 or 2007

＜システムの概要＞

◆機能　① 経理請求書データ、出張データのデータベース保存
② 帳票出力(請求書・BOOK.xls　顧客毎の類別複数枚シート)

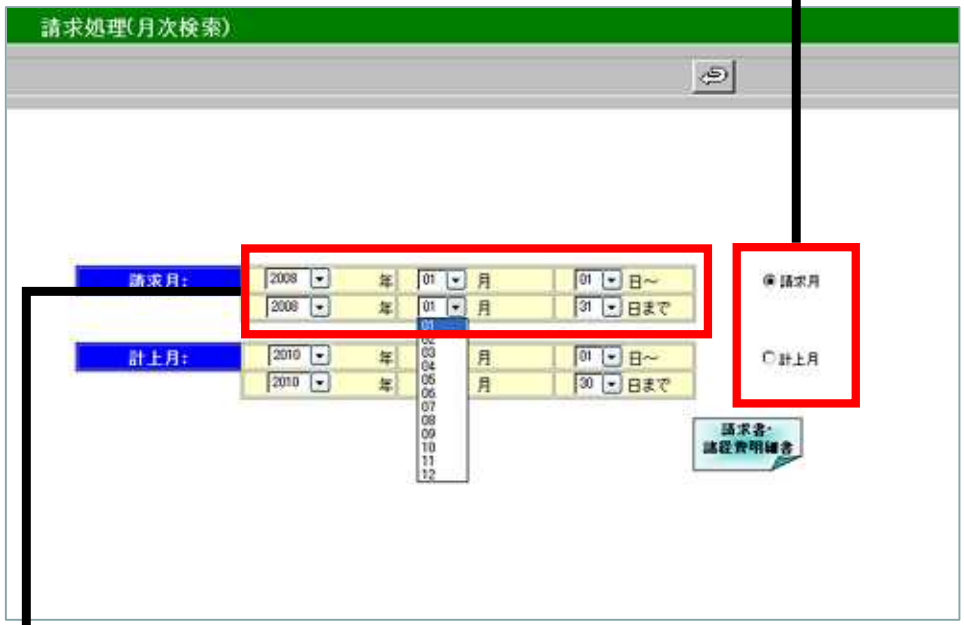
◆特徴　① データベースはACCESS-2003で管理
② StiLL・Excelの機能を活用した入力補助・エラーチェック機能、登録機能
③ Excelベースでカスタマイズが容易 (コメントと目的別シートの活用)



■システム図 -1　データ入力と請求処理 (月次検索)

※　売上･入金、出張データは、Excelシートに入力後、ACCESS-DBに登録されます。

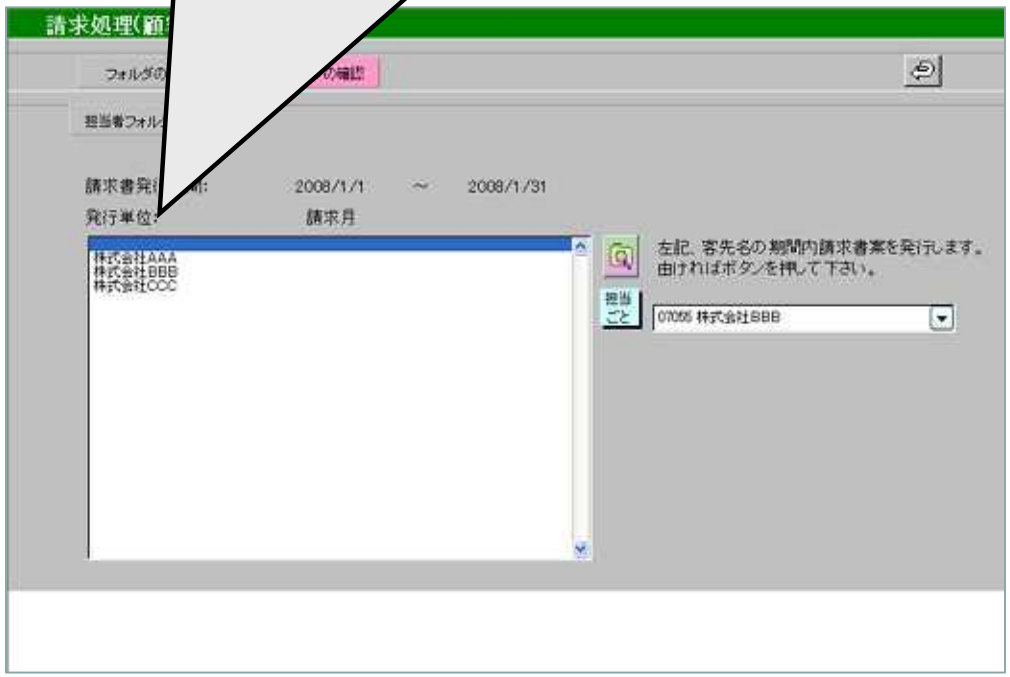
請求処理画面 (月次検索)



ラジオボタンを切り替えることで「請求月」「計上月」別に請求書単位を変更します。

請求処理画面 (顧客名の抽出)

デフォルトで全顧客分の請求書を自動発行、再発行が可能です。



月次処理にとらわれず、請求書発行範囲を設定できます。

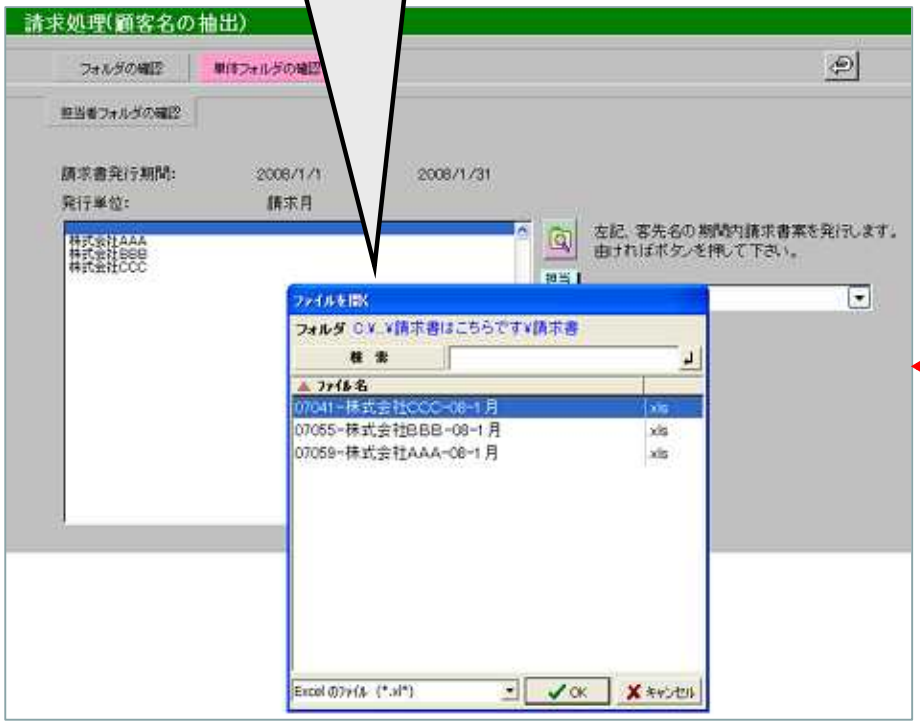
■システム図 -2　各種帳票のExcel-BOOK出力

ACCESS-DBに保管された売上･入金、出張データを元に、顧客別、各種別請求書帳票をExcel-BOOKに自動出力します。

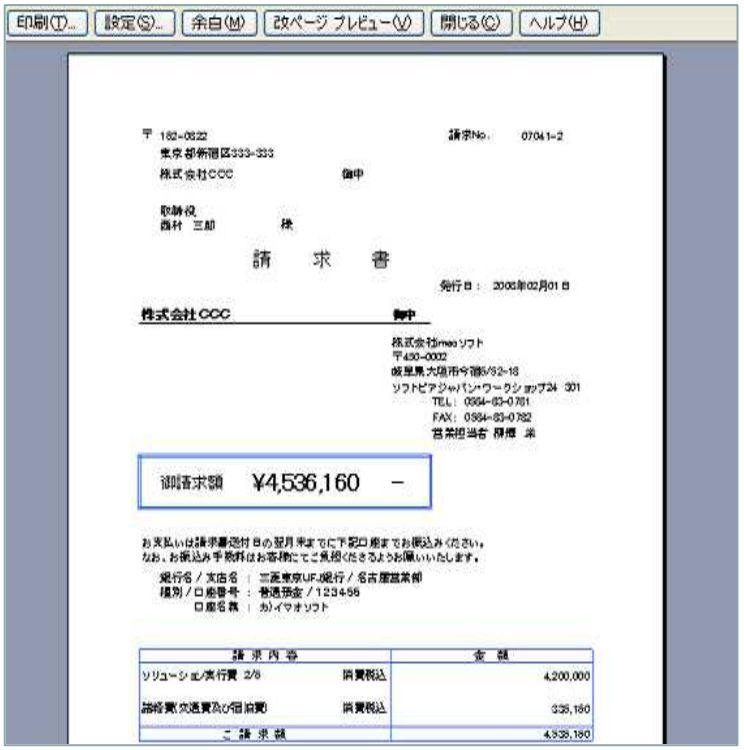
請求書データ

請求処理画面 (顧客の個別対応)

個別顧客別に請求書発行を行う機能



顧客毎別 プレビュー表示



Excelブックにあるデータを確認します。

■請求書自動発行システムの特徴-1

【請求書フォーマットの特徴】
・顧客は「トヨタ生産システム」という目に見えないモノ作りの考え方を売っている会社という処です。

※大きな観点で言うと、コンサルタントの請求書な訳ですが出張報告、業務報告を全て書き出して請求書を発行している為、その処理計算が複雑だという点です。

1．詳細では、月額固定でいくらという考え方でなく、「トレナー（実際にトヨタ生産方式を伝授する工場のＯＢ）」が何処何処の事業場にどれだけいて、営業は旅費を含めてバス、電車、タクシーで何処まで行っていくら使ったかを全て請求書詳細に盛り込んで請求書を発行しています。

2．主だった請求書の発行者が「営業職」がメインなのでその「サジ加減」が請求書のそのまま反映されています。「単価５０，０００円の処、都合により３０,０００円」とか、相乗りをしたので単価なし・・という記載があり、ことばを変えて請求書の集計に入ります。
請求書（Excel-BOOK）発行後も最終決定権は営業にあり、営業が自分の顧客の請求書内容を精査修正したものが印刷時に最終結果として印刷登録されます。各営業のフォルダまでBOOKをコピーするまでをシステムでやっています。

3．単価もマチマチで、それを一項目毎請求書のレコードに記載されており、それをＪＴＢの切符を使用したシート、宿泊のあったシート等4分類され、バスの区間費用、タクシー費用、セミナー費用、調査費等、都度マスタにない項目をフラグ区分で分類し、それを全く自動で請求書発行（Excel-BOOK）しています。
裏側の大変に込み入った処理はExcel関数とStiLLのプログラムでないとむずかしかったと思います。
経理発行の出張清算、入金等転記業務もExcel関数を使いまくって処理しており、其処からデータをくみ取った請求書を自動作成している処もおおきな特徴と言えます。

■請求書自動発行システムの特徴-2

【要件定義のポイント】
・通常の販売管理システムでは、日次処理の結果を月次処理の請求書発行という形で処理しますが今回の要件定義では、最終的に経理の使用中の数種類のExcel表入力画面を適時Excel表の肩に取り付けた「登録」（StiLL登録ボタン）よりデータベースにアップロードします。
・業務の慣れと運用上、この方法がシステム習得時間もかからず、現場も今までの業務手法を変えなくて良いので抵抗が少なかったというメリットがあります。

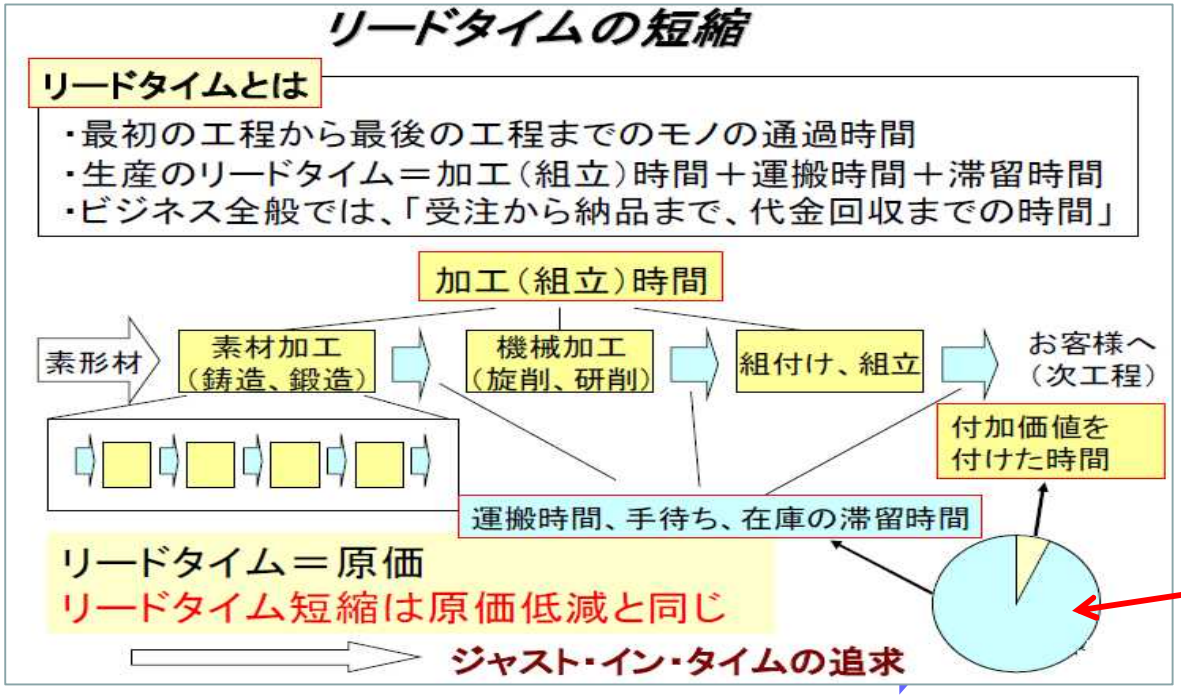
※Excel表をデータベースに取り込む際にはいくつかのハードルがあります。今回はそれを社内教育によって、運用協力を戴きました。
①データ型を順守する。（日付け欄にテキストを書きこまない。「ー」「3/12まで」といった記入をしない。）
②こまめにアップロードする。データベースをアペンド設定にしてファイルは読み取り専用で使用する。（データはデータベースのみに登録される。）
③Excel表に勝手にカラム（項目）追加しない。データベースには予備カラムを用意して管理者と協議しながら、Excel表の変化に対応します。

【技術のポイント】
・顧客のタイプにより、4種類の請求書のまとめフォームがあり、それを自動認識して、顧客毎の請求書を自動発行します。この詳細機能はExcel関数とStiLLのセルリンクボタンプログラムの併用で初めて具現化されるものです。
・経理部門で生成された顧客毎の該当請求書BOOKは、自動的に営業職の個人フォルダに送付されます。各営業職が自分の受け持ちの顧客への請求内容を精査し、此処で単価も踏まえた戦略的な修正が施されます。
・見直しの承認を得た個別請求書ファイルは経理に戻され、印刷されますが、この時点で、請求書データはデータベースに登録されます。（データの整合性の処理もポイントです）

■ビジネステンプレート事例　その他 imaoソフトのStiLL生産ソリューション

次の「見える化」の提案

次の見える化は「手待ち」「滞留」の部分を見える様に
(生産システム導入による見える化実現)



※　OUT工程からIN工程のデータを取ることで停滞、手待ちが見えて来ます。

1．業務をシステム化して、初めて業務がマニュアル化されます。
2．業務がマニュアル化されると、業務内容を定量化して確認(見える化)出来ます。
3．生産性の向上は、業務のムダが見えることで可能となります。
4．よって「見える」ことは企業の競争力向上に直結します。
※　次は近未来の発生するであろうコストを未然に防ぐ「見える化」が求められています！

①山積み・山崩し
②資材所要量計算
③原価管理(原価償却 etc)
④SFA(セールス・フォース・オートメーション)

■ビジネステンプレート事例　見える化ソリューション例

Excelジェネレータ
システム化したいEXCEL表をフォルダにドラッグ
ファイル名を選択すると、EXCEL表がシステム
のデータベースに取り込まれます。

山崩し－行程の異る投入品の各工程毎の負荷
量の違いをグラフ化して最適な平準化を求めま
す。

タイムテーブル－当日の確定受注品番と数量
より加工工程とトータル時間を算出、ラインと
作業順を表示します。

部品表－階層構造のある部品表を簡単に作成
と更新を行うことが出来ます。

◆ソリューション事例②-1紹介◆

2010/3/19

システム名　TPiCS-X 生産管理ダッシュボード

開発元	株式会社ティーピクス研究所	販売会社	トーテックアメニティ株式会社
業種	生産管理用パッケージシステム開発	業種	システムインテグレーター
規模	従業員 13名	規模	従業員 1,525名
所在地	東京都文京区千石４－８－６	所在地	名古屋市西区名駅２－２７－８
		ＵＲＬ	http://www.totec.jp

■システム概要-1　生産管理情報分析ツール構築事例

＜ソリューション事例背景と狙い＞

生産管理システムを運用していくと、システムの中に沢山の生産情報（データ）が蓄積される。

それらのデータを使用して、管理精度向上、経営効率向上、或いは問題の分析が出来るよう、経営者、管理者の方が気軽に見て頂けるような付属システムを開発した。

＜ソリューション事例開発の経緯＞

従来、当社のパッケージシステム「攻撃型生産管理システムTPiCS-X**」には、データを整理して表示したり、分析する機能は備わっていなかった。**

今回、Excel＋StiLL＋Xcelsius**を使用してシステムを構築した。**

■ソリューション事例②-2 システム概要

＜システムの概要＞

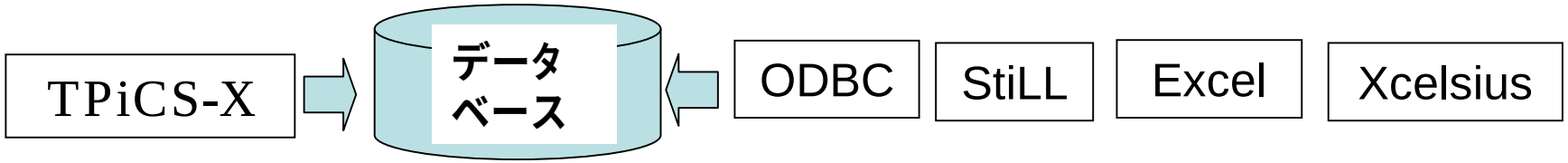
「ダッシュボード」と称するように、当システムを起動すると、いくつかのグラフが表示される。

各グラフは、現在の生産の状況が表示され、もし問題点があれば直ぐ分かるよう表現される。

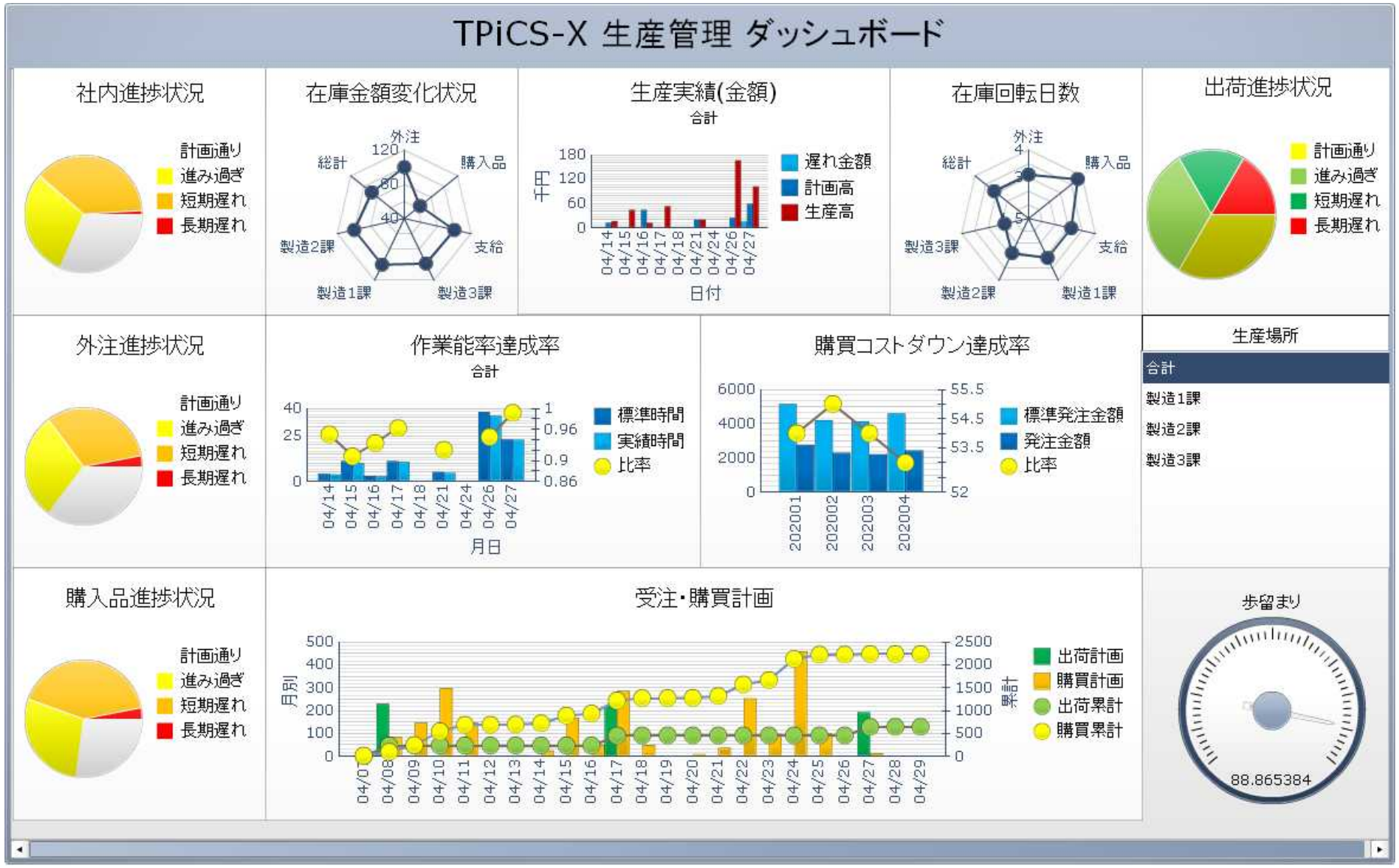
ユーザー（経営者、管理者）は、そのグラフで問題を見つけると、マウスクリックによりさらに細かな状況を知ることが出来、問題点の抽出、解決へ結びつけていく。

＜システムの特長・成果＞

Excel＋StiLL＋Xcelsius**の環境で作成されたシステムで、そのソースも公開されるため、機能の追加や、カスタマイズが簡単に行える。**



■ソリューション事例②-3 生産管理の様々な管理指標を一目で



■ソリューション事例②-4 生産管理の様々な管理指標-1

・日々の部門毎の生産金額の推移

アイテム（品目）ごとの（段取り時間＋生産数量×標準作業時間）×該当部門の加工費レートを生産金額とします。

・在庫回転日数

アイテムごとの1日当たりの消費量（使用量）、出荷量×実績積上単価で、部門毎の在庫金額を「在庫回転日数」とします。
社外調達品は、外注や購入品として表示し、発注責任者が把握できるようにしてあります。

・在庫金額の増減

前月末の在庫金額と現在の在庫金額を、部門毎に比較出来るようにしました。

・生産出荷の進捗状況

計画通りに進んだもの、計画に対し進みすぎだったもの、短期間の遅れだったもの、長期間（指定可）の遅れが発生したものに分類して評価します。
さらに遅れの要因分析することが出来ます。

■ソリューション事例②-5 生産管理の様々な管理指標-2　　その課題･解決

･作業能率達成率

実績データから実績生産数量×実績作業時間、実績生産数量と作業時間
マスターの標準時間、段取り時間で、標準時間を求め、その比率を部門別に日々の
グラフで表示します。

･購買コストダウン達成率

発注数量に標準単価あるいは発注単価を掛けたものの比率でコストダウン達成率とします。

･日々の歩留まり率

実績データから、投入数量（計画対応実績）－完成数量（在庫対応実績）の差
廃棄数量、不良実績から部門毎の歩留まり率を表示します。

･受注･購買計画

日々の受注金額と、発注金額の推移を見ることが出来ます。
簡単な資金繰り予定や、工場稼働状況の先行きが分かります。

【システム企画】

･作成方法、プロセス･･･すでに沢山のユーザーに使用して頂いている生産管理システムTPiCS-Xのデータを利用して、
管理指標を表示する。

･その評価･･･････････経営者や管理者にとって、様々な生産指標が可視化できることを評価いただき、間接的に
TPiCSの売り上げ増加を狙う。

【要件定義】

･経営者、管理者が人目見ただけで、現場の状況が分り、問題点を発見し、問題解決の答えが見つけられるようにする。

【開発期間、コスト･技術】

･設計、開発を2ヶ月間、一人で行う。
･開発者は、これまでExcelもStiLLも使用したことが無く、全くの未経験者であったが、6月末から勉強を始め開発を行った。

【本稼働】･2009年11月よりリリース開始。TPiCSユーザはティーピクス研究所HPより無償にてダウンロードが可能。

【追加、修正】　･2010年2月15日に改良版をリリース。

【継続性】　･弊社のパッケージ商品の一部としてリリースするので、今後長く改良メンテナンスを行っていく。

■ソリューション事例② 開発ポイント

「StiLL」のシステムポイント

Excelのシステム～Web システムまで

様々なシステム事例：Excel・Access・
DBシステムCSV、TXT、Webシステム等

Excelプラットフォーム 新開発手法

TPiCS-X Ver3.2のデータベースを前提にテストデータを作成。
それを前提に設計・開発

表現力豊かなシステムデザイン

②豊富なExcelコンテンツ
②様々な業務に合った「StiLL」コマンド

システム稼動後の改善（修正・追加）が
スムーズ

①修正・追加依頼可
②データベースのデータ活用自由自在!!

システムポイント実施内容

Excelと基幹DBをStiLLで連動。

基幹ＤＢ(Oracle、Microsoft SQL Server)と連動したシステム構築を行いました。
用途を考え、LAN環境だけを想定した。

Excel機能を活かした集計システム。

Excel、StiLLを勉強しながら開発。

開発は、Excelのグラフだけで表示するプログラムを、コンテンツを確かめながら作成し、その後表現力の豊かなXcelsiusを使って開発した。

機能追加に対応しやすいプログラム作り。
当システムの性質を考えると、「[好み」に左右されやすいものと考えられる。
そこで、当システムはソース公開を行い、多少のカスタマイズも受ける予定。

MEMO

◆ システム事例紹介III◆

システム名　「生産計画ダッシュボード」

会社名　　電気･電子メーカ
業種　　プリント基板製造工場

■システム概要

＜導入背景と狙い＞
多品種少量化が著しく進み、それまでの生産性重視のシンプルな製造ラインでは製造リードタイムが伸びる一方となった。これに対し、製造ラインを構成する機械の連結を解除し、様々な仕様にも柔軟に対応できるように再配置した。管理すべき項目が製造ラインの数から機械の数になり、管理項目が膨大となり人手では対応しきれない量になった。生産管理部としてはお客様への迅速、且つ精度の高い納期回答と回答した納期遵守のために、いかに高速かつ効率的な生産計画を立てられるかが鍵となり、生産スケジューラーの導入に踏み切った。

＜導入の課題･解決＞

課題：古くから運用している生産管理システム（DB）があり、そこに手を加えるとインパクトが大きい

解決：Asprovaであれば専用のDBを立ち上げる必要がなく、コンパクトに導入できる

★本システムは短納期･低コストを満たしたうえで、クライアントの環境に依存しないシステムを実現した事例です。

■システム事例III「生産計画ダッシュボード」

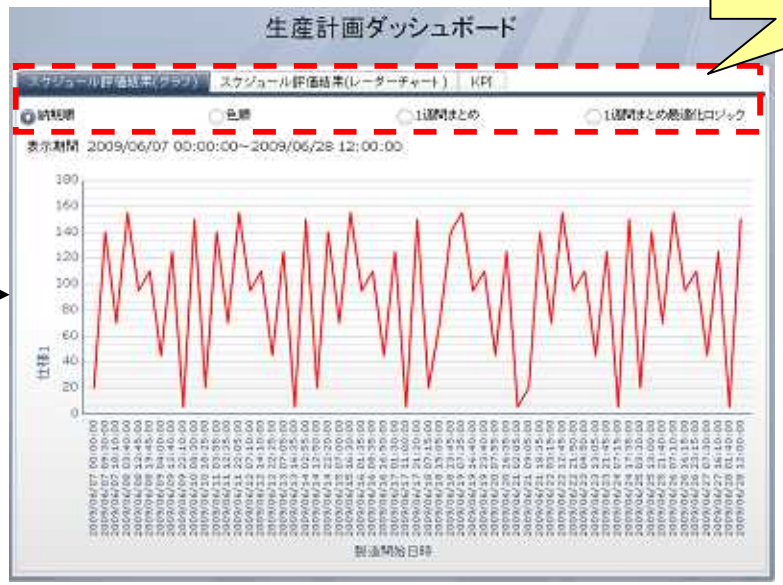
＜システム概要＞

生産スケジューラ
Asprova

CSVデータ

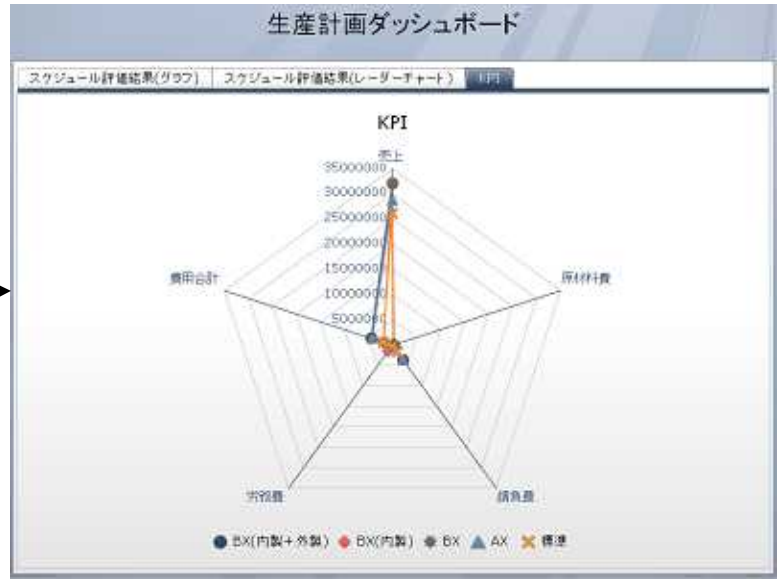
CSVデータを
Excelシート上に
取込み、ダッシュ
ボードで表示しや
すい形式に修正

スケジュール評価結果(グラフ)



タブ・ラジオボタンで
表示切替

KPI(レーダーチャート)

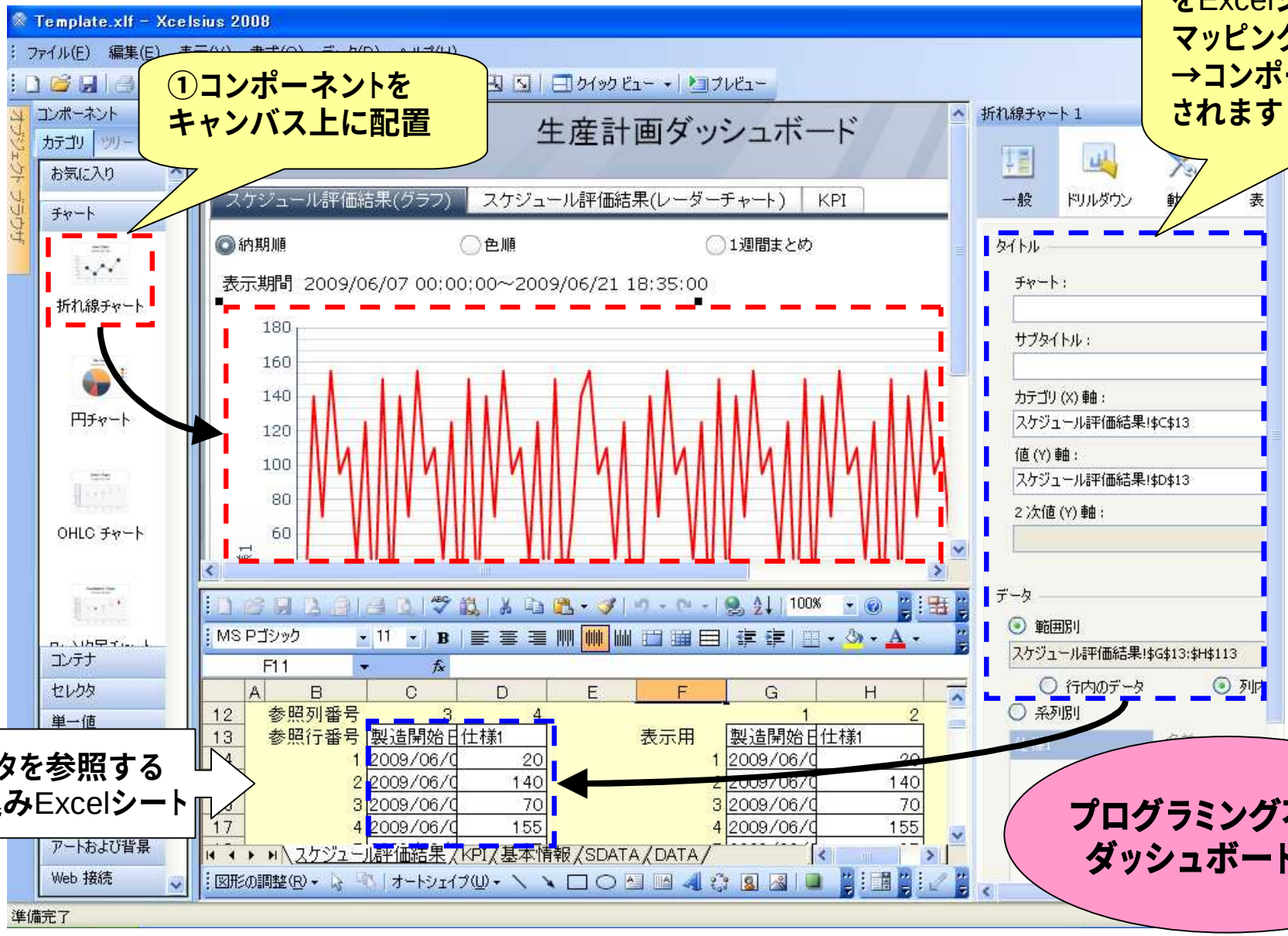


スケジュール評価結果(レーダーチャート)

・豊富なコンポーネントで直感的で
わかりやすい動的ダッシュボードに。
・SWF形式で出力されるので、Web・
PDF・Microsoft Office等様々な配布
形式が選べます。

■システム事例III「生産計画ダッシュボード」

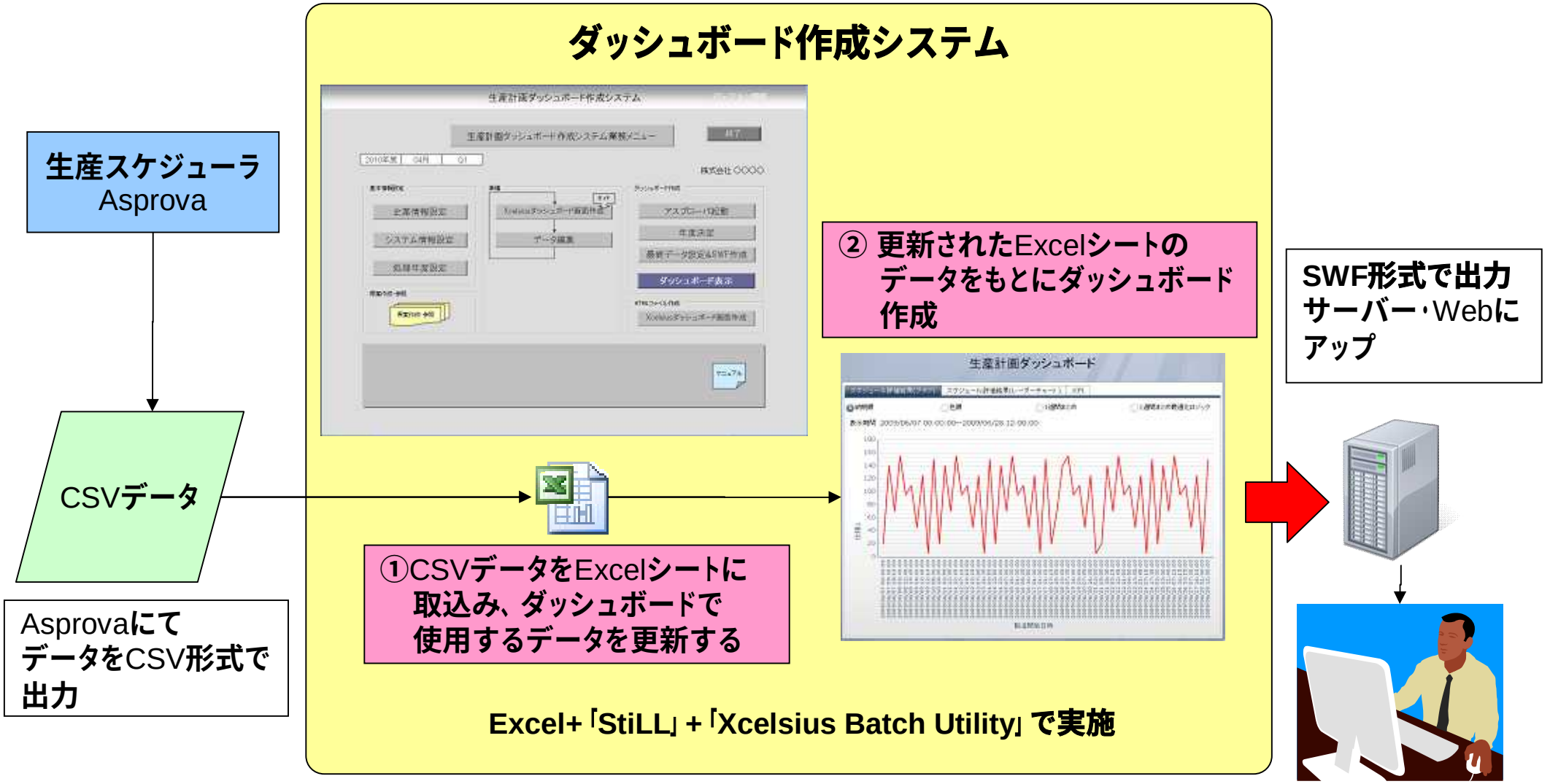
＜Xcelsiusでのダッシュボード作成＞



■システム事例III「生産計画ダッシュボード」

＜システム概要＞

AsprovaからCSV形式で出力したデータをExcelシートに取込み、ダッシュボードを更新します。



■システム事例III　「生産計画ダッシュボード」　開発ポイント

システムポイント

Asprovaのデータを見える化

他のシステムに蓄積されたデータをわかりやすく表現

Excelプラットフォーム 新開発手法

データモデルはExcelで作成

表現力豊かなデザイン

豊富なXcelsiusコンポーネント

システム稼動後の改善（修正・追加）がスムーズ

修正・追加がユーザーでも可能

システムポイント実施内容

CSVデータを取込みダッシュボードを作成

Asprovaから出力したCSVデータをもとにダッシュボードを作成、視覚的/感覚的/直感的なデータ表示をします。

Excelシートがデータモデル

データモデルはExcelシートに作成します。使い慣れたExcelを使用するので、キューブ開発に必要な専門知識は不要です。

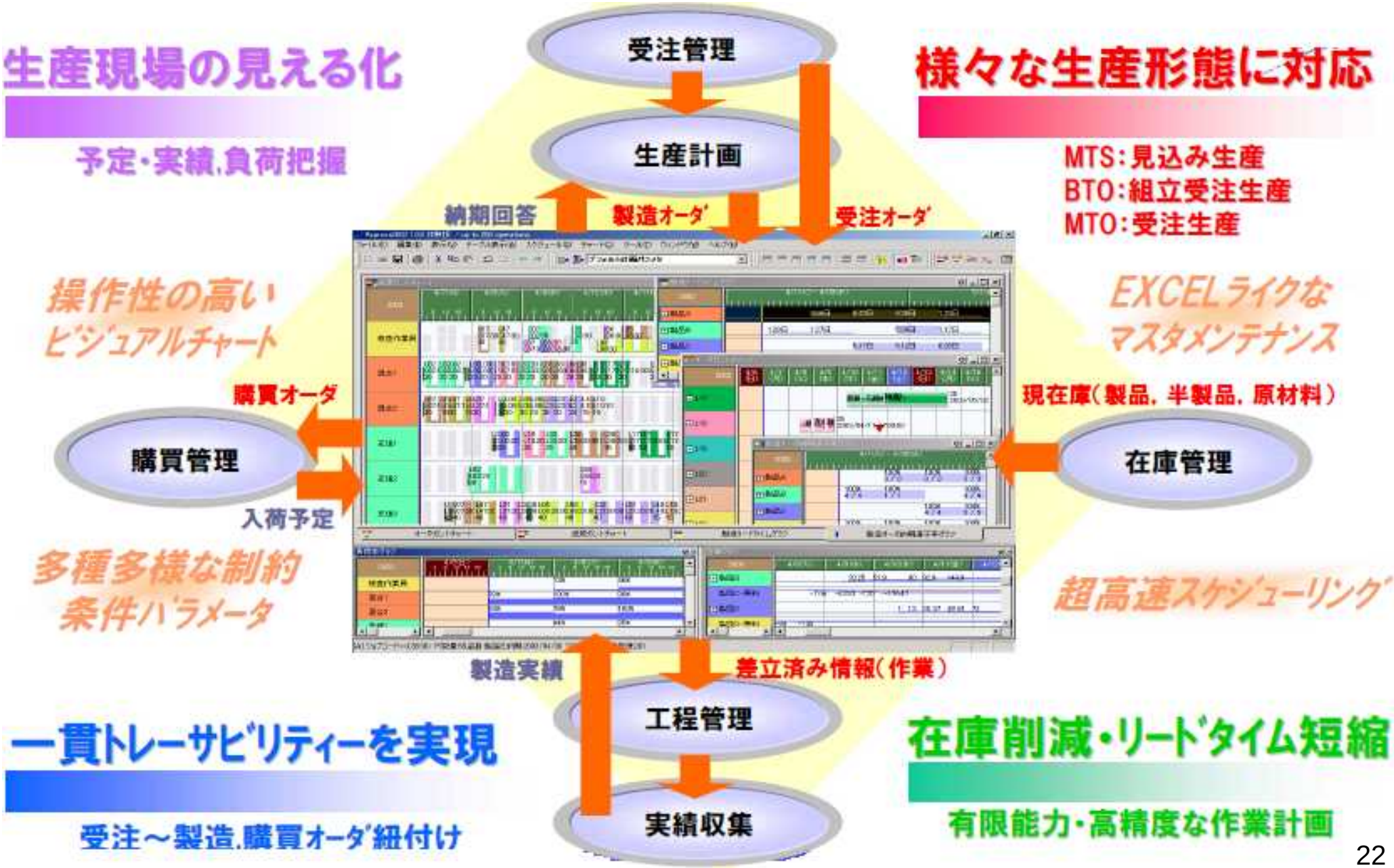
Xcelsiusの豊富なコンポーネントを活用

チャート・セレクタなどのコンポーネントが豊富に用意されており、データに適した表現方法が選べます。

コーディング・プログラミングが不要

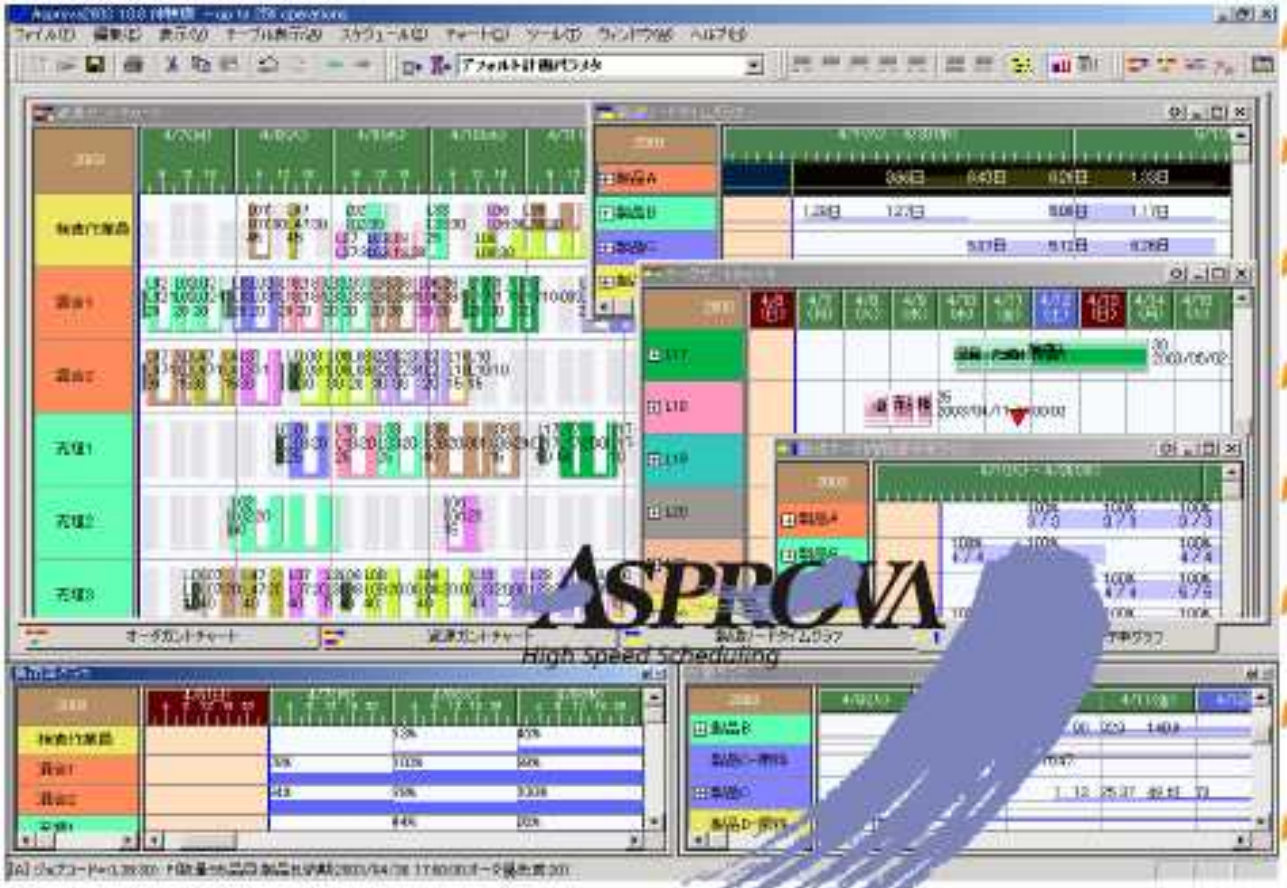
データモデルはExcelシート上に作成、ダッシュボードのコンポーネントはプロパティを設定するだけなので、コーディング・プログラミングが不要で修正・追加が簡単です。

■生産スケジューラAsprovaとは



■生産スケジューラAsprovaの導入メリット

設備単位でのデータを詳細化、段取り時間の削減や、作業員の効率配置を目指した計画の実現



- 多品種小ロット化への対応
- 品種増への対応
- 設備単位でのスケジュール
- 作業員の効率的な配置
- 作業員のスキル反映
- 段取り時間の削減
- 負荷平準化
- ながら残業の削減

など

■生産スケジューラAsprovaの導入実績

電気・電子関係	LED・コネクタ・圧着端子・マイクロプロセッサ・プリント基板・ウェハー・エアコン筐体・スピーカー・セラミック・時計・半導体・リードフレーム・CD-ROM ・CD-R・DVD・CD-ROMドライブ・電線・液晶ディスプレイ・ステレオ・フォトマスク・VVFケーブル・ソケット・携帯電話・携帯電話用コネクタ・ICパッケージ・アルミ電解コンデンサ・フォトレジスト・TFTモジュール・ピストンリング・針・ピアノ線・プリンタピン・車載計器・光電盤・デジタルカメラ・カーナビ・冷蔵庫・照明器具・センサー・信号制御装置・太陽電池モジュール・蛍光表示管・電池・多極コネクタ・送電線・汎用計算機・・・
輸送機器関係	エンジン部品・ドア・シャーシ・内装・金型・ショックアブソーバ・車両検査・パイプ・チューブ・エンジン・クレーン車・ゴム・航空部品・試作ボディ・ブレーキ部品・高圧ホース・シート地・ワイヤーロープ・変速機・カムシャフト・クランクシャフト・ケース・ワイヤーハーネス・バイク・自転車・・・
機械関係	編み機・厨房機器・工作機械・農業機械・産業用機械・光学機器・照明装置・空調機・暖房機・事務機のプラスチック部品・制御用コンピュータ ・マテハン機器・動力伝導装置・電動工具・内燃機関電装品・インライン計測システム・ウェハー外観検査装置・内燃機関電装品・遠心分離機・ミシン・熱処理装置・タンク・水槽・タービン・コンプレッサ・模型用エンジン・真空ポンプ・ウェハー精密機器・工作機械・食料品加工機械・電設・ガス水道関連工具・水道関連機器・電気溶接機・舞台照明装置・ミシン部品・・・
金属部品関係	ドリル・ねじ・大砲・ワイヤー・圧着器・水栓金具・ガードレール・パイプ・マグネットワイヤ・鉄鋼・板金パーツ・フェンス・橋梁用鉄工製品・ブレード ・溶接棒・ナット・工業用貴金属製品・展伸用合金・飲料用アルミ・切削機械用鋸刃・ギア・金属スプリング・タイマ機構部品・精密小型歯車・アルミ箔・銅板・船のプレート・伸鋼品・特殊鋼製品・工具チップ・潤滑油のパッケージ・飲料缶・磁石・・・
材料関係	コークス・梱包部品・繊維製品・紙製品・船穀ブロック・カメラ用フィルム・ゴム製品・ABS樹脂・UVインキ・グラビアインキ・包装資材の印刷・研磨布紙・抄造・樹脂ホース・塗料・歯科材料・フイルムシート・電子部品セラミック基材・タイル・耐火煉瓦・ニューセラミックス・触媒・製紙用クレー・・・
日用品関係	納豆・洗剤・粉・ビニール袋・食品用ポリ容器・プラモデル・事務用品・釣り具・レンジフード・木材加工・靴下・缶・化粧品・ゴム印・ボールペン・シャンプー・ショッピングバッグ・ダンボール・エクステリア製品・飲料水・玄関・床下収納・造作部材・靴・玩具部品・ネックレス・ストッキング・・・
医薬品関係	医療品・試験薬・医療用具・検体検査用試薬・顆粒・錠剤・・・
化学関係	接着剤・プラスチック原料・アスファルト・シリコン・エンジンオイル・ポリエチレン・ポリプロピレン・成形材料・ゴム・フッ素化学製品・塩化ビニル・塩ビペースト・・・

「StiLL」とは?

◎「StiLL」とは

「StiLL」とはExcelをプラットフォームとしたプログラム開発ツールです。
Excelにアドインし、コーディングをしないプログラム作成を実現しました。
Excel、Access、SQLserver、Oracle 等のデータベースシステムが
スタンドアローンからLAN・WAN・Web上で稼働します。

◎「StiLL」で出来る事

■基幹システムや基幹連動システム
■実務業務標準化、共有システム作成
■ユーザ・技術者の情報 リテラシ向上

◎「StiLL」利用効果

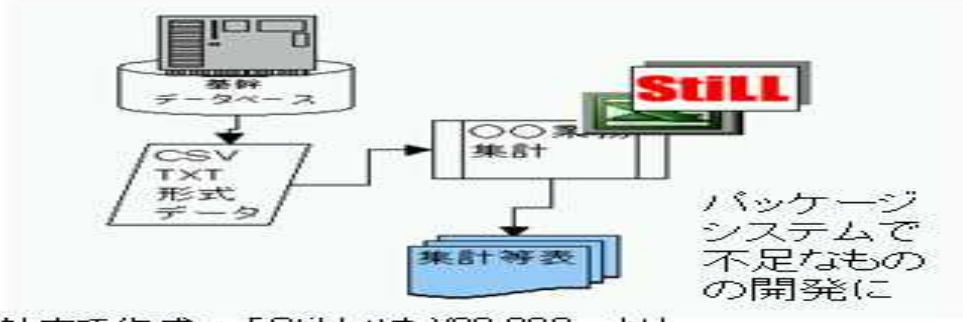
■業務目的にあった的確なシステム
■短期間・低コストのシステム開発
■修正等メンテナンススムーズ

◆Excel、Access、SQLserver、Oracle等 データベースシステム
◆基幹・業務・情報系・ビジネスプロセスデザイン等
◆スタンドアローンからC/S Webシステム
BI システム経営ダッシュボード の構築が可能です。

そして
・最適な技術と費用で最大効果のシステムを
・納得のスパイラル型 新開発手法
・業務ノウハウと技術を融合するシステムの 実現をします。

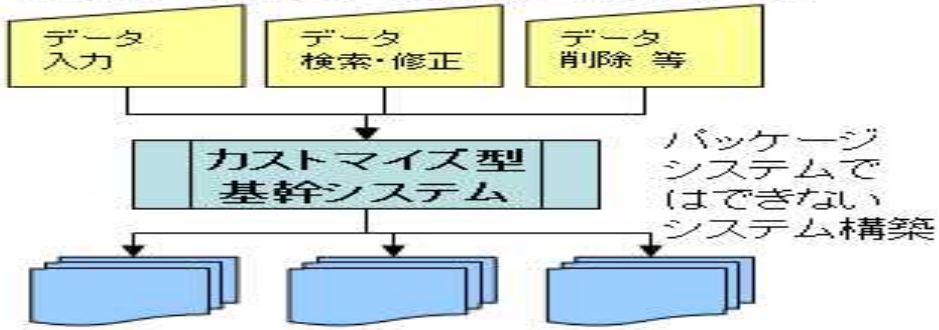
「StiLL」開発アプリケーション

市販パッケージCSV連動
システム例　帳票や集計表作成システム



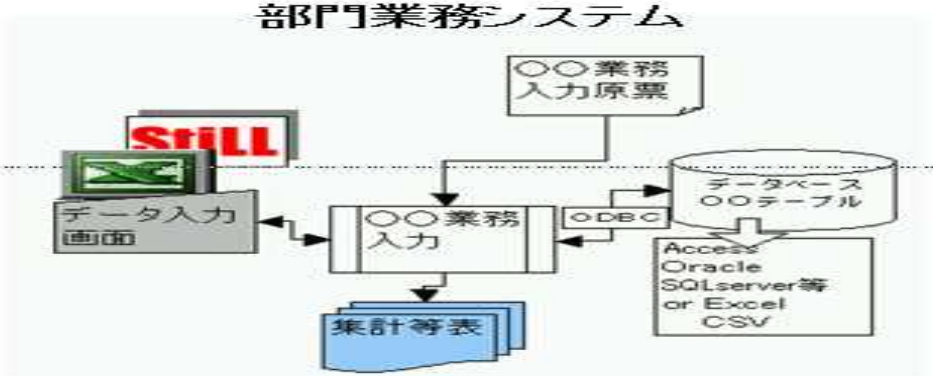
自社内で作成→「StiLL」は ¥98,000.- より
（PCの台数×9，800、講習、サポートの費用が別途かかります。）

中小規模基幹システム
生産・販売・財務・給与等



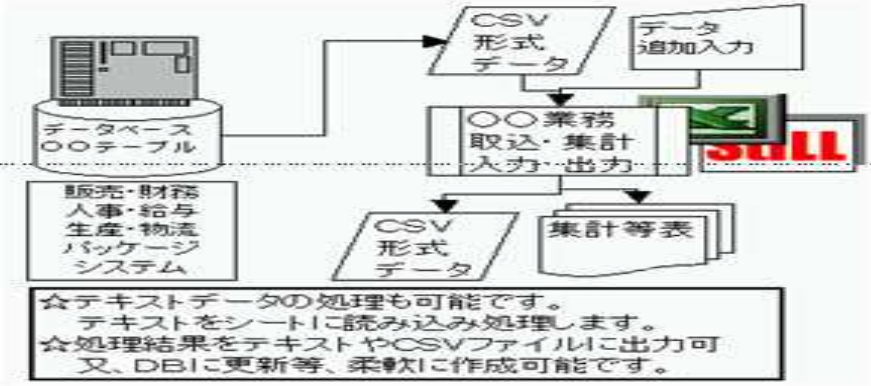
専門家に依頼→ 従来の半額以下

部門業務システム



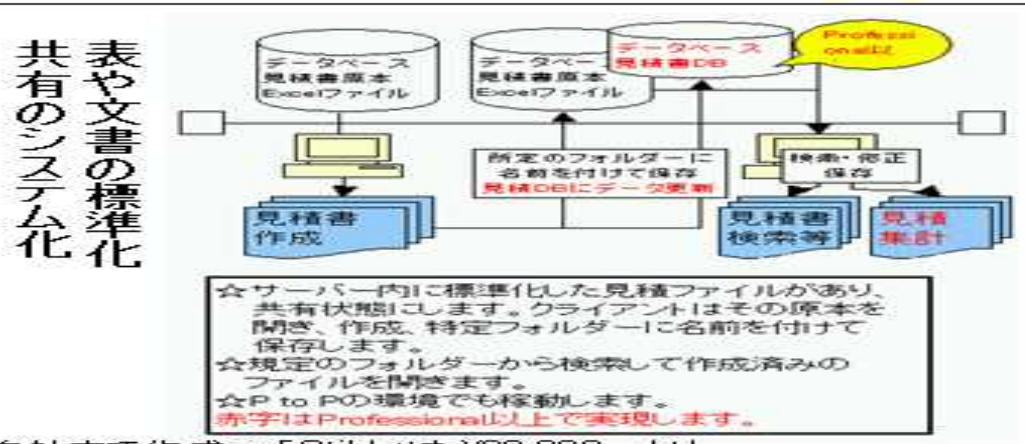
自社内で作成→「StiLL」は ¥98,000.- より
（PCの台数×9，800、講習、サポートの費用が別途かかります。）

基幹システム連動



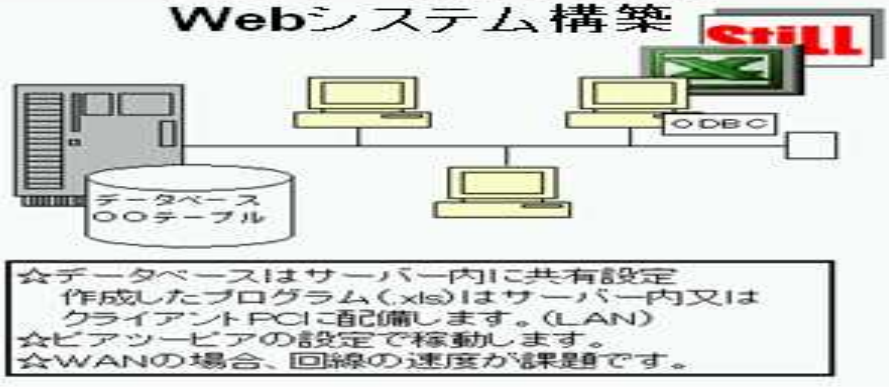
専門家に依頼→ 従来の半額以下

表や文書の標準化 共有のシステム化



自社内で作成→「StiLL」は ¥98,000.- より
（PCの台数×9，800、講習、サポートの費用が別途かかります。）

ネットワークシステム
Webシステム構築



専門家に依頼→ 従来の半額以下

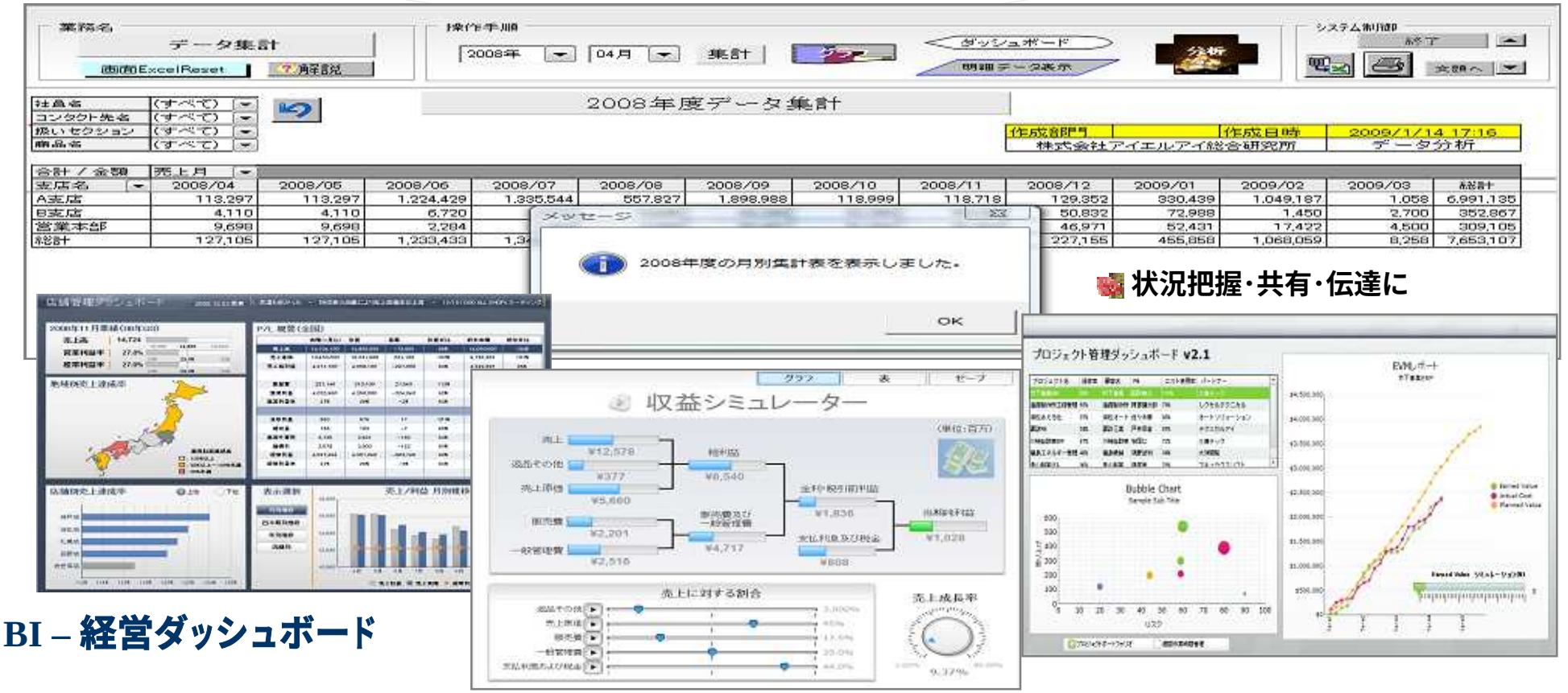
「StiLL」とその連携製品のご紹介　Xcelsiusと連携 したBI ツール

Excelプラットフォーム　エンドユーザーBI 自由自在!!

部門 BI システムツール「StiLL & Xcelsius」

■調査･分析･ソリューション

Excelと「StiLL」のOLAP機能と
「StiLL」の分析、開発系プログラム
言語不要のプログラム機能を利用



■状況把握･共有･伝達に

BI – 経営ダッシュボード

MEMO

◆ システム事例紹介◆

システム名：株主総会サポートシステム

会社名　　：朝日インテック株式会社
業種　　：医療機器メーカー
所在地　　：名古屋市

■システム概要

＜導入背景と狙い＞
株主総会では、株主の質問を300～400問ほど想定し、株主の質問に対して、想定問答に回答がある場合は、議長が質問を読み上げ、答弁者を指定し、答弁者が答弁席に着くまでに回答案を用意する必要があり、システムが無ければせっかく用意した想定問答集はあまり用を成しません。
そこで、StiLLによるデータベースシステムを構築し、決まり文句のような問答はボタン化し、現場で回答案のアレンジが必要となる問答は検索しやすくし、短時間で回答案を表示させることを実現しました。
また、株主総会の議長シナリオは、基本的に予定から外れることはありませんが、動議等によってサブシナリオに移行した場合、後半の文句が微妙に異なってきます。そうしたシナリオ分岐も、行の表示・非表示機能を使って実現しました。
ポイントは、株主総会準備というのは、各セクションから寄り集まって臨時でチーム（事務局）を構成するため、実質的に半月程度しか時間が無いため、完成度やセキュリティよりも開発速度が優先される点です。また、利用者は少数の事務局に限られるため、想定外の操作をあまり懸念する必要はありません。そうしたことから、開発が早く、かつ、Excelというユーザーにとって敷居を感じさせないStiLLは最適な開発環境と言えると考えます。

■開発中こだわったポイント

①
■とにかく早く作る

『StiLL』に対して、いまいち懐疑的な見方が社内にあり（「開発環境として帯に短し襷に長しではないか」「ユーザーが開発する必要があるのか」等）、また、時間をかけていると、事務局内でシステムを浸透させる（ファンにさせる）時間が無くなるため、とにかく早く作ることを心掛けた。
その結果、プロトタイプは2日間で完成した。
それによって、総会準備の早い段階からプロトタイプを提供することができ、システムのありがたみが徐々に理解されるにつれ、抵抗感が薄れ、愛着をもってもらえるようになった。

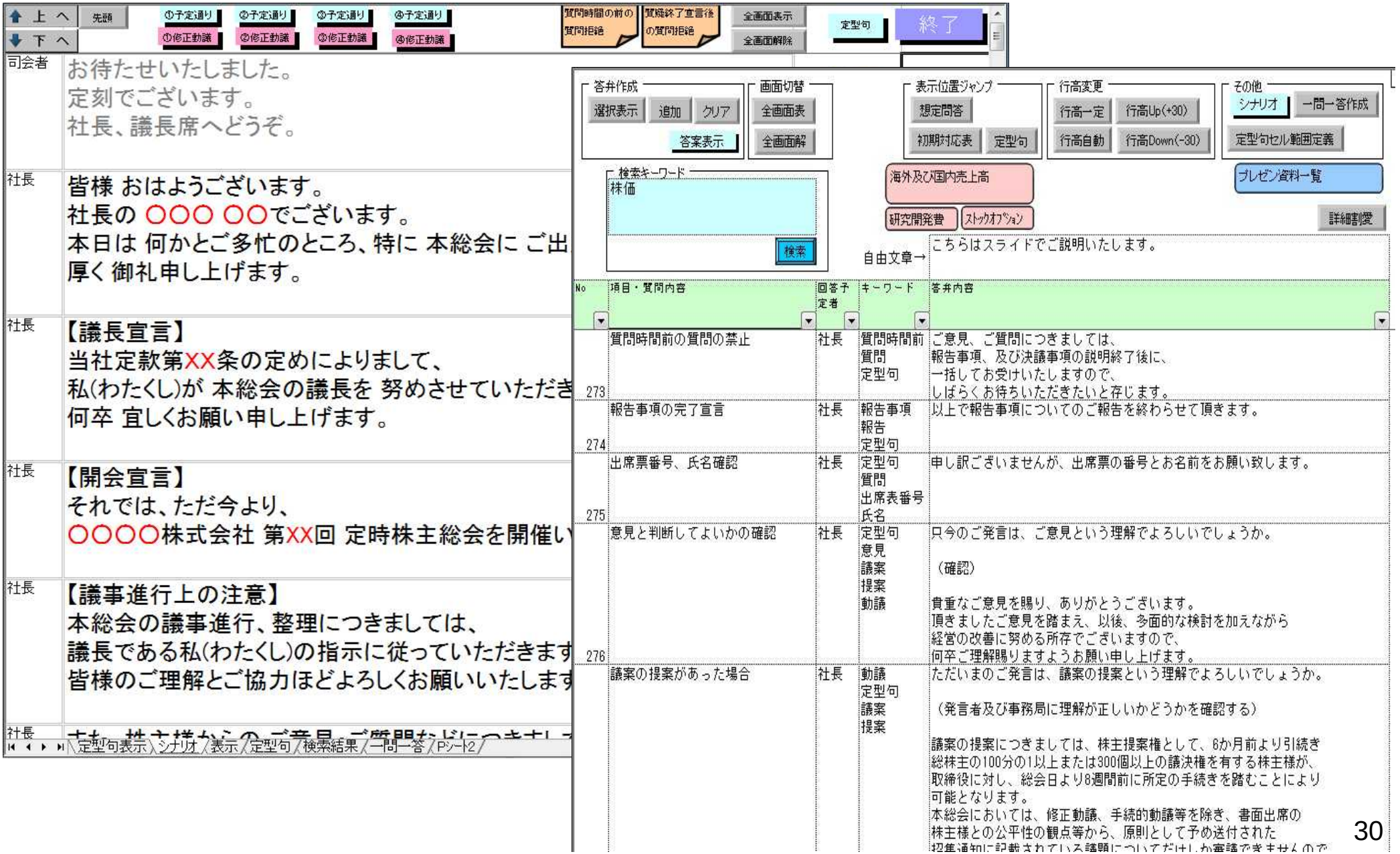
②
■見た目をシンプルにする

一般のユーザーにとって、敷居が高いと感じた瞬間からシステムに対する悪感情を抱く。シンプルでExcelライクであればあるほど親近感が増す。
そのため、極力見た目をシンプルにすることを心掛けた。
そのため、1ブックに集約（DB用のファイルやAccessは使わない）、シート数限定（7枚）、ロック機能は不使用、自動実行機能排除等を己に課し、敷居の低さを演出した。
それにより、「システムは住む世界の違う別物」という先入観を打破することができ、ニュートラルかつ新鮮な目線で評価してもらえることにつながった。

③
■仕組もシンプルにする

総会サポートシステムに興味をもってくれたユーザー（事務局メンバー）が、StiLLコマンドを利用する側になってもらえるように、本システムが初心者教育用としてもふさわしいものになることを目論んだ。
そこで、「これなら自分でもできるのではないか」と思えるよう、仕組もシンプルを心掛けた。
その結果、使用したStiLLコマンドを11種類に抑え、使用したExcel関数も僅かに2種類に絞り、Excelを極めておらず、プログラミングに自信が無くとも「このシステムに限ってはマスターが可能ではないか」と思わせられる水準を維持した。

システム画面


上へ
下へ
先頭
①予定通り
①修正動議
②予定通り
②修正動議
③予定通り
③修正動議
④予定通り
④修正動議
質問時間の前の質問拒絶
質疑終了宣言後の質問拒絶
全画面表示
全画面解除
定型句
終了
司会者
お待たせいたしました。
定刻でございます。
社長、議長席へどうぞ。
社長
皆様 おはようございます。
社長の ○○○ ○○でございます。
本日は 何かとご多忙のところ、特に 本総会に ご出
厚く 御礼申し上げます。
社長
【議長宣言】
当社定款第XX条の定めによりまして、
私(わたくし)が 本総会の議長を 努めさせていただき
何卒 宜しくお願い申し上げます。
社長
【開会宣言】
それでは、ただ今より、
○○○○株式会社 第XX回 定時株主総会を開催い
社長
【議事進行上の注意】
本総会の議事進行、整理につきましては、
議長である私(わたくし)の指示に従っていただきます
皆様のご理解とご協力ほどよろしくお願いいたします
社長
定型句表示
シナリオ
表示
定型句
検索結果
一問一答
Pシート2
答弁作成
選択表示
追加
クリア
答案表示
画面切替
全画面表
全画面解
表示位置ジャンプ
想定問答
初期対応表
定型句
行高変更
行高一定
行高自動
行高Up(+30)
行高Down(-30)
その他
シナリオ
一問一答作成
定型句セル範囲定義
検索キーワード
株価
検索
海外及び国内売上高
研究開発費
ストックオプション
プレゼン資料一覧
詳細割愛
自由文章→
こちらはスライドでご説明いたします。
No
項目・質問内容
回答予定者
キーワード
答弁内容
273
質問時間前の質問の禁止
社長
質問時間前
質問
定型句
ご意見、ご質問につきましては、
報告事項、及び決議事項の説明終了後に、
一括してお受けいたしますので、
しばらくお待ちいただきたいと存じます。
274
報告事項の完了宣言
社長
報告事項
報告
定型句
以上で報告事項についてのご報告を終わらせて頂きます。
275
出席票番号、氏名確認
社長
定型句
質問
出席表番号
氏名
申し訳ございませんが、出席票の番号とお名前をお願い致します。
276
意見と判断してよいかの確認
社長
定型句
意見
議案
提案
動議
只今のご発言は、ご意見という理解でよろしいでしょうか。
（確認）
貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。
頂きましたご意見を踏まえ、以後、多面的な検討を加えながら
経営の改善に努める所存でございますので、
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
議案の提案があった場合
社長
動議
定型句
議案
提案
ただいまのご発言は、議案の提案という理解でよろしいでしょうか。
（発言者及び事務局に理解が正しいかどうかを確認する）
議案の提案につきましては、株主提案権として、6か月前より引続き
総株主の100分の1以上または300個以上の議決権を有する株主様が、
取締役に対し、総会日より8週間前に所定の手続きを踏むことにより
可能となります。
本総会においては、修正動議、手続的動議等を除き、書面出席の
株主様との公平性の観点等から、原則として予め送付された

■ユーザー事例　「株主総会サポートシステム」開発ポイント

「StiLL」のシステムポイント	システムポイント実施内容
メインシナリオの表示機能	上から下にシナリオを書いただけだが、それで十分。システム的な機能は、スクロールボタンと他シートとの行き来のボタンを用意しただけ。システムを知らなくても直せ、敷居の高さを感じさせないことがより重要。
サブシナリオへの切替機能	イベント（動議等）の発生によって、後のシナリオが変更される場合、行の表示・非表示、セルジャンプ機能を利用して、メインシナリオからサブシナリオへの切り替えを行う。サブシナリオからさらにシナリオが派生する場合も同様。
典型的な発言への即時応答機能	株主の発言から回答までの猶予時間は短いため、典型的な発言に対する即時応答文言をボタン化し、すぐに表示できるよう、シナリオに埋め込んだ。 答弁者が読み上げやすいよう表示する文字を大きくした。 （シナリオとは別シート）
想定問答集からのキーワード検索機能	選択した回答案の拡大表示機能、加工が必要な場合の自由作成文の追加機能、参考文章であるかそのまま読み上げて良いかを明らかにする機能等を付けた。 また、パワーポイント表示機能を活用し、即座に資料がスライドとして表示されるようにした。

「StiLL」は我々にとってなんなのか?

- StiLLはコマンドの組合せや使い方（創意工夫）次第で様々なニーズを実現することができ、うまく使うためにはExcelの機能に精通する必要がある。そういう意味で、Excelを極めれば極めるほど、StiLLの活用範囲は広がり、上級者を飽きさせない奥の深い開発環境と言える。
- データ取得のBtMergeはこれ一つマスターするだけでも、仕事の効率が格段に違ってくるスペシャルなコマンドである。また、プログラミングがいまいち他人事に思える一般人にとって、意識改革を呼び起こすコマンドでもある。そういう意味で、初心者に敷居の低い開発環境と言える。
- 初心者にも上級者にも意義が大きいStiLLの本質は、まさにExcelそのものである。偏見を無くし、真っ白な状態でStiLLに接すれば、無くてはならない存在であることに気が付くはずだ。StiLLはVBAを否定しているわけではないので、Microsoftが売るべきだとさえ思っている。
- 幸運にもStiLLを早く知ることができた我々の使命は、商売を度外視してStiLLをExcelの標準機能として世間に浸透させることである。それによって、結果的に先駆者としての恩恵に浴することもあろう。

MEMO

「StiLL-X」新登場 新機能

■ Excelをもっと活用 「StiLLボタン」の機能拡大と充実
・エンドユーザーコンピューティング推進
・スパイラル型開発 (要件定義) が更にスムーズに

■ BI 開発ツールとして活用 StiLL+Xcelsius
・ダッシュボードシステムの実現
・Excel OLAP 確立

◆ ExcelをDBシステムとして構築出来るような新機能の追加

・ Excelデータと
入力フォームとの連携機能
・Excelデータテーブルへの
新規登録・更新・削除
・Excelデータテーブルの
クエリーとマージ機能

◆ BI システムの実現 (Kit製品)
DBとExcel、Xcelsius連動

・ピボットテーブル制御

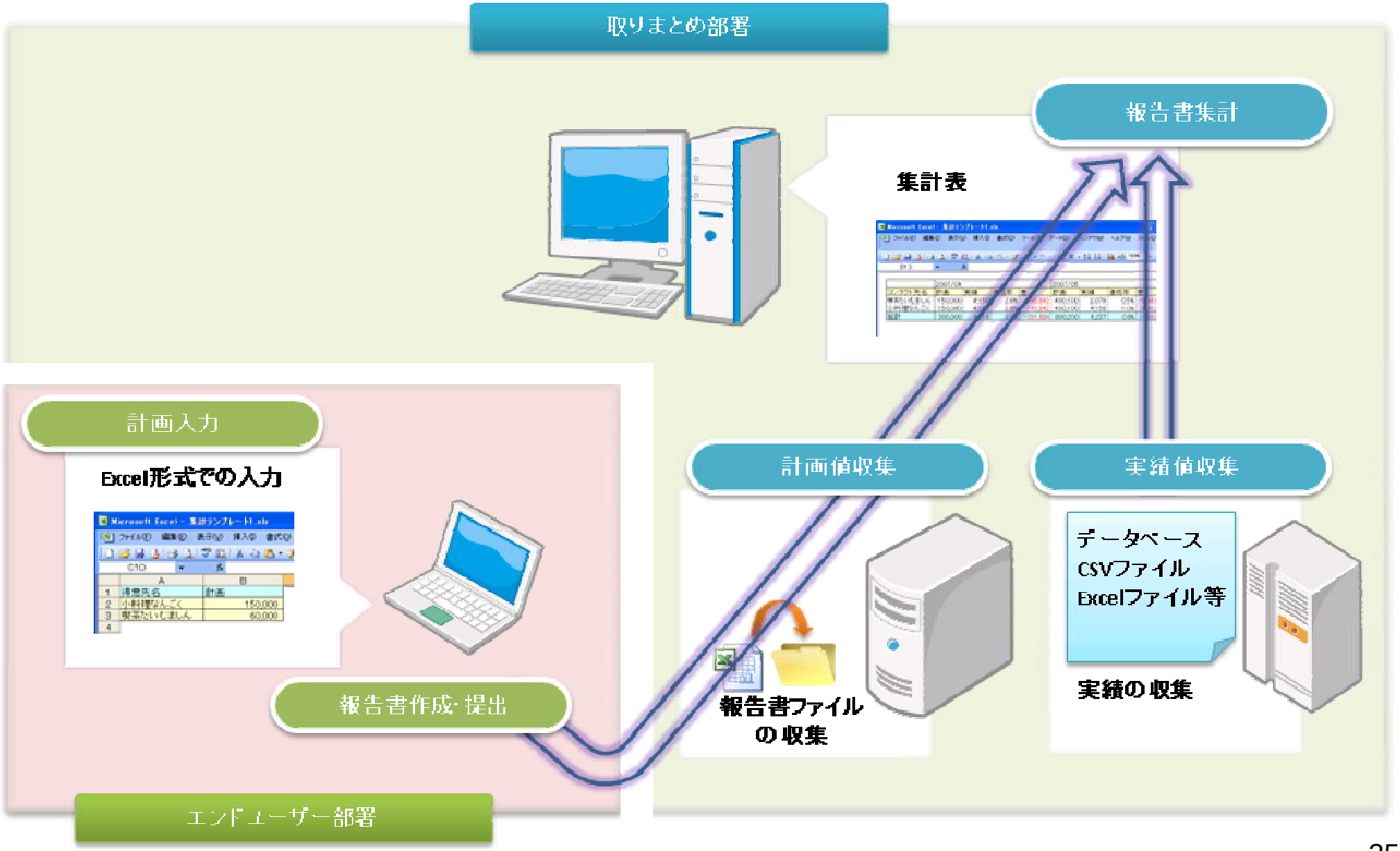
・ダッシュボード (Xcelsius)
と連動機能 (オプション)

※Xcelsius単体では販売はしていません。
「StiLL」のお客様は別途ご相談ください。

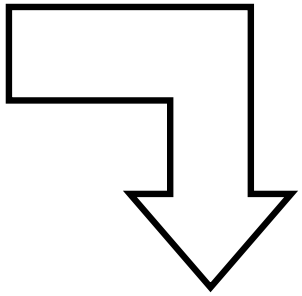
★ Excel DBシステム
・ボタンテンプレートの追加
・システムテンプレート追加
・上記用開発テンプレート

★ BI ダッシュボード開発ツール (オプション)
・Xcelsius (SAP製品OEM)
・システムテンプレート
・上記用開発テンプレート

システム概要
Excelで入力した計画値とデータベースやCSV等にある実績値を統合して、集計表を表示する仕組みを構築



報告書（ピボットテーブル集計「StiLL」で自動化）



	年月	2007/04					2007/05					2007/06					2007/07	
コンタクト先名	データ	計画	実績	達成率	構成比	差	計画	実績	達成率	構成比	差	計画	実績	達成率	構成比	差	計画	
喫茶たいむましん		1,500	4,158	277.2%	50.0%	2658	4,001	2,079	52.0%	33.3%	-1922	4,000	2,079	52.0%	50.0%	-1921	1,560	4
小料理なんごく		15,000	4,158	27.7%	50.0%	-10842	4,001	4,158	103.9%	66.7%	157	4,004	2,079	51.9%	50.0%	-1925	3,560	
総計		16,500	8,316	50.4%	100.0%	-8184	8,002	6,237	77.9%	100.0%	-1765	8,004	4,158	51.9%	100.0%	-3846	5,120	4

Excelファイルの集計システム作成
ブック間リンク・マクロ・VBA不要！

■Excelファイルのデータ統合

「レコード複合取得」機能の活用

■DB・CSVファイルの取得

「DBデータ取得」や「テキストデータ取得」機能の活用

■Excelのピボットテーブル機能を利用した集計の仕組み

「ピボットテーブル」機能、「ピボットテーブル更新」機能等の活用

成果

ExcelとStiLLの機能を活用することで作成工数を軽減

これから作るExcel システム、
今のExcel システムの作成し直し!
いかがですか?

作りやすい・直しやすい
短時間・低コスト・メンテナンススムーズ　システム作り

■「StiLL」コンテンツ ご紹介

StiLL
オプション
プログラム

■STSETODBC：ODBC名ソース名設定プログラム Professional 以上に同梱　無料

■StiLL開発テンプレートキット　システムサブルーチン･特殊テンプレート ¥100,000/1 L契約

■StiLLマネージャー：StiLLのインストール制御　すべてのStiLLに同梱　無料

■StiLLスタート：StiLLアプリとExcelを分離独立制御プログラム　¥15,000/1部門(消費税別途)
※Developers版のみ同梱。

■StiLL Loader：SBC環境設定プログラム　¥100,000/1サーバー(消費税別途)

■StiLL Timer：タイマーによるプログラム起動　¥100,000/1システム(消費税別途)

■StiLL Mail：送信用メールソフト　¥100,000/1システム(消費税別途)

■StiLL Get Mail ：メールサーバーからMailデータを検索、取得 ¥100,000.-/1システム(消費税別途)

StiLLの
デモサイト

下記URLよりご覧ください。
http://www.still.co.jp/whatstill.html

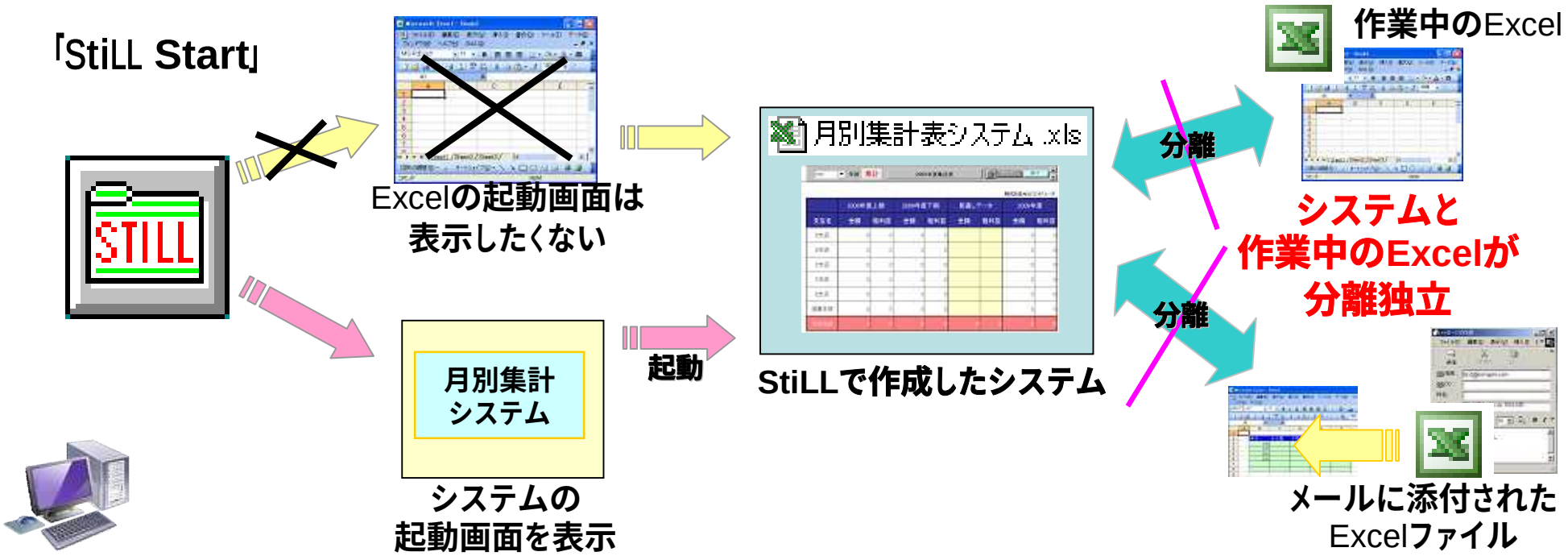
StiLL
小冊子
ガイド

下記URLよりダウンロードしてご利用下さい。
https://wn.cococica.com/ili-presentation/SmallBookStiLL02.pdf

「StiLL - X」オプションプログラム
「StiLL Start」

概要
①StiLLファイルを起動するためのアプリケーションプログラムです。

特長
①「StiLLStart」を使うとStiLLで作成したシステムの起動ができます。
② Excelの起動画面がない状態でシステムの起動が可能です。
③作業中のExcelとは別のExcelでシステム起動がおこなえます。
④システムの起動中にエクスプローラやメールに添付されたExcelファイルを起動しても、システムに影響を与えません。



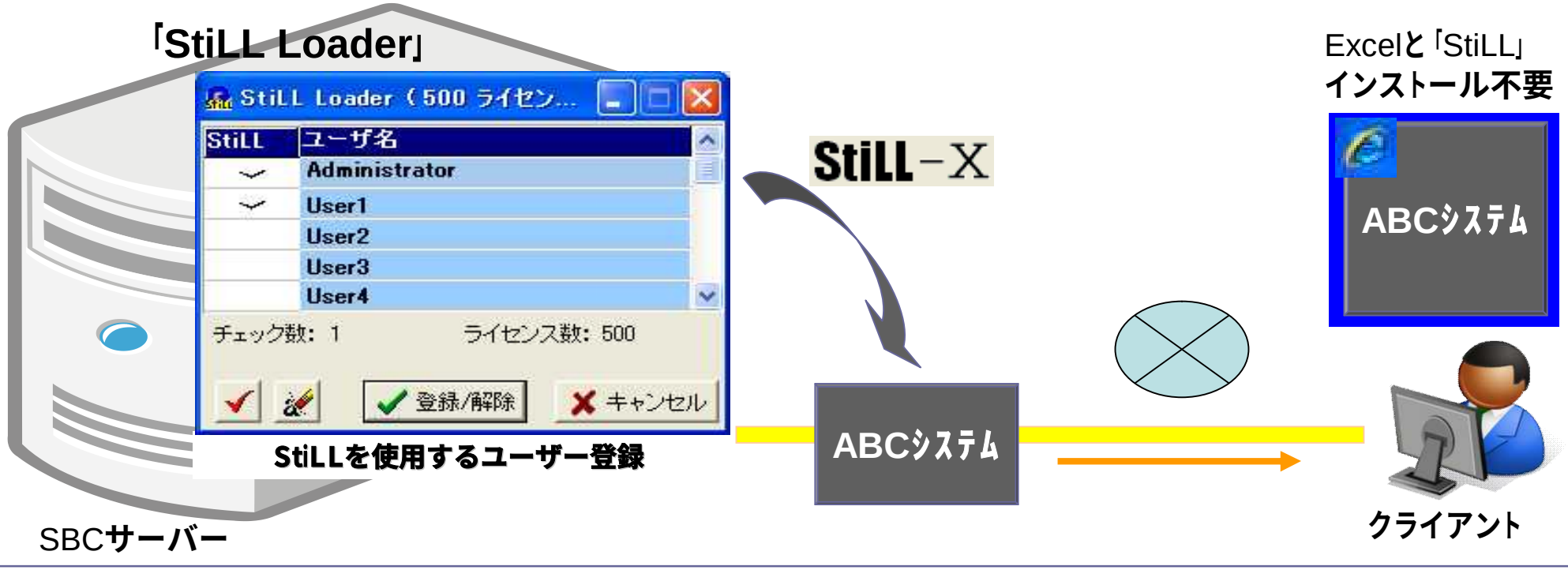
「StiLL-X」オプションプログラム
「StiLL Loader」

概要

①SBC環境 (Server Based Computing環境)
Go-Global
Citrix Presentation (旧 MetaFrame)
Sun Secure Global Desktop Software (旧 Tarantella)等
でStiLLを動作させるための ツールです。

特長

①「StiLL Loader」を使うと SBC環境でStiLLを動作させることが可能です
②StiLLを使用するユーザー管理が可能です

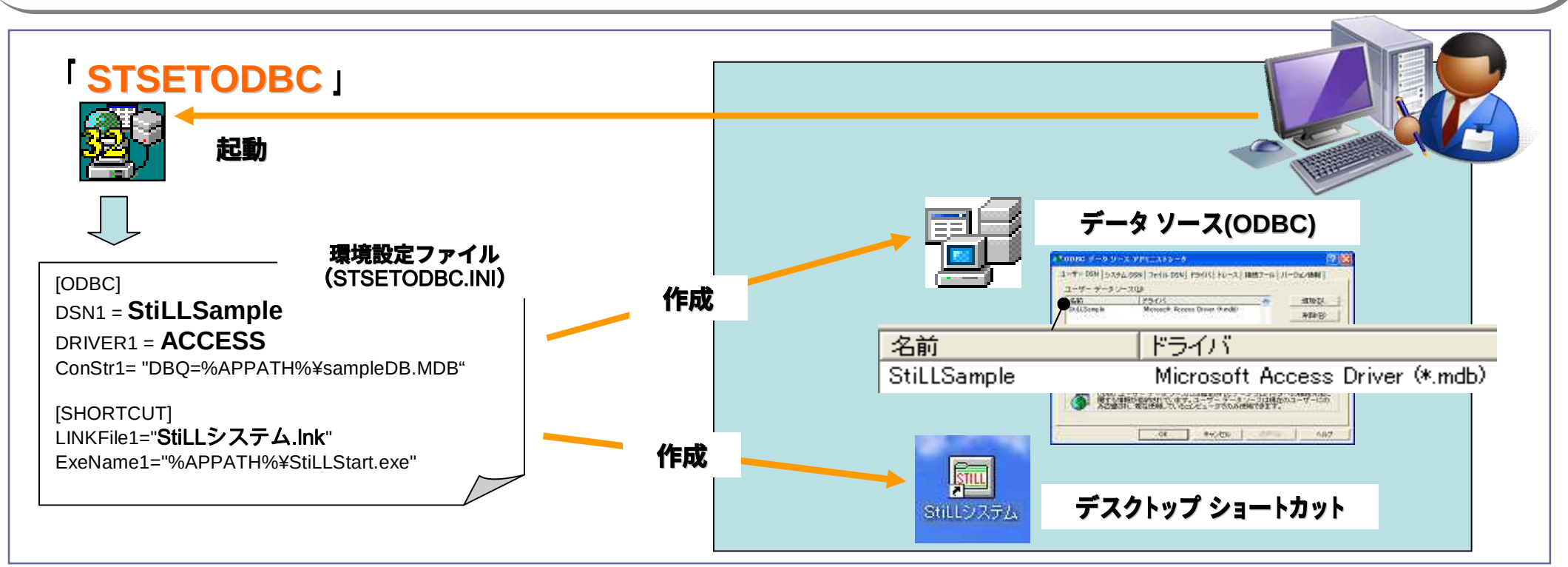


「StiLL - X」オプションプログラム
「STSETODBC」

概要
ODBCソース名設定
プログラムです。

特長
①「STSETODBC」を使うと環境設定ファイルの
内容に応じたODBCソース名を自動的に作成できます。
② デスクトップにシステムを起動するショートカットの
作成も可能です。

「StiLL-X Developers・Professional」に同梱されています



「StiLL Timer」

※Excelアプリではありません

概要

①様々なプログラムを
タイマーで起動する
ツールです。

特長

①日時指定だけでなく、毎週何曜日の時間指定や毎日の時間指定といったことが可能です。指定は何件でも可

②StiLL Timerの設定は、すべてStiLLTimer環境設定ファイル (.INI) からおこないます。

「StiLL Timer」

プログラムをタイマーで自動起動

StiLL Timer
環境設定ファイル
設定日時
無制限!!!

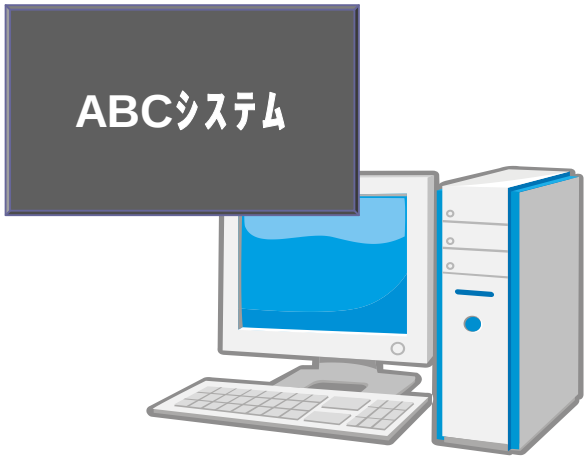
```
[StiLLTimer]

Title="Timer1"
Exe1=ABC.exe
Timer1=12:00,毎日

Title="Timer2"
Exe1=XYZ.exe
Timer2=2009/1/4 13:00
```

毎日１２：００に起動！！

アプリケーションプログラム 「ABC.exe」



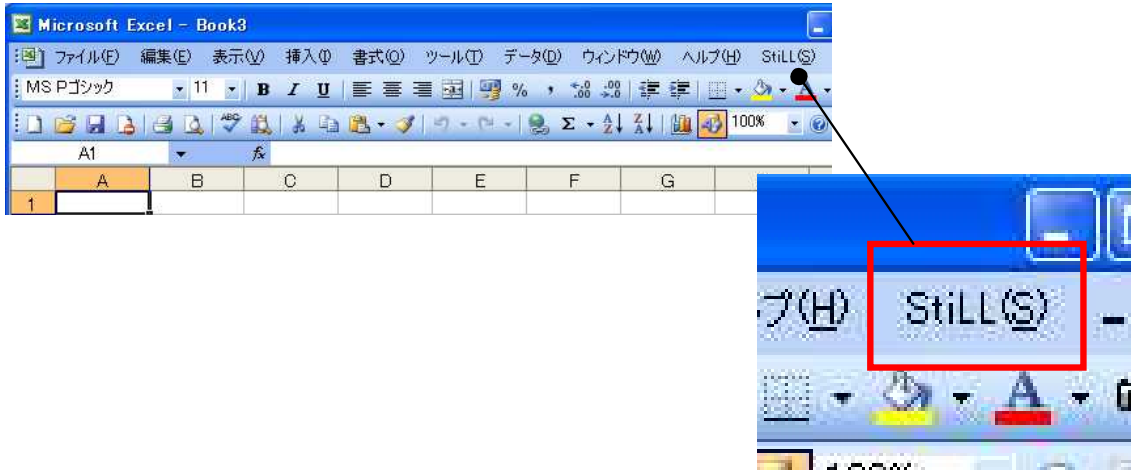
「StiLL - X」オプションプログラム
「StiLL マネージャー」

概要
①StiLLのアドイン登録・解除をおこなうアプリケーションプログラムです。

特長
①「StiLL マネージャー」を使うとStiLLのアドイン登録・解除をおこなうことができます。
② インストールユーザーでない別ユーザーにStiLLを利用させたいとか、StiLLをアンインストールしないで解除したいといったことが可能です。

「StiLL- X」に同梱されています

「StiLL マネージャー」



StiLLのアドイン登録･解除が可能

「StiLL Mail」 ※Excelアプリではありません

Outlook Becky でプログラム化はダメ！

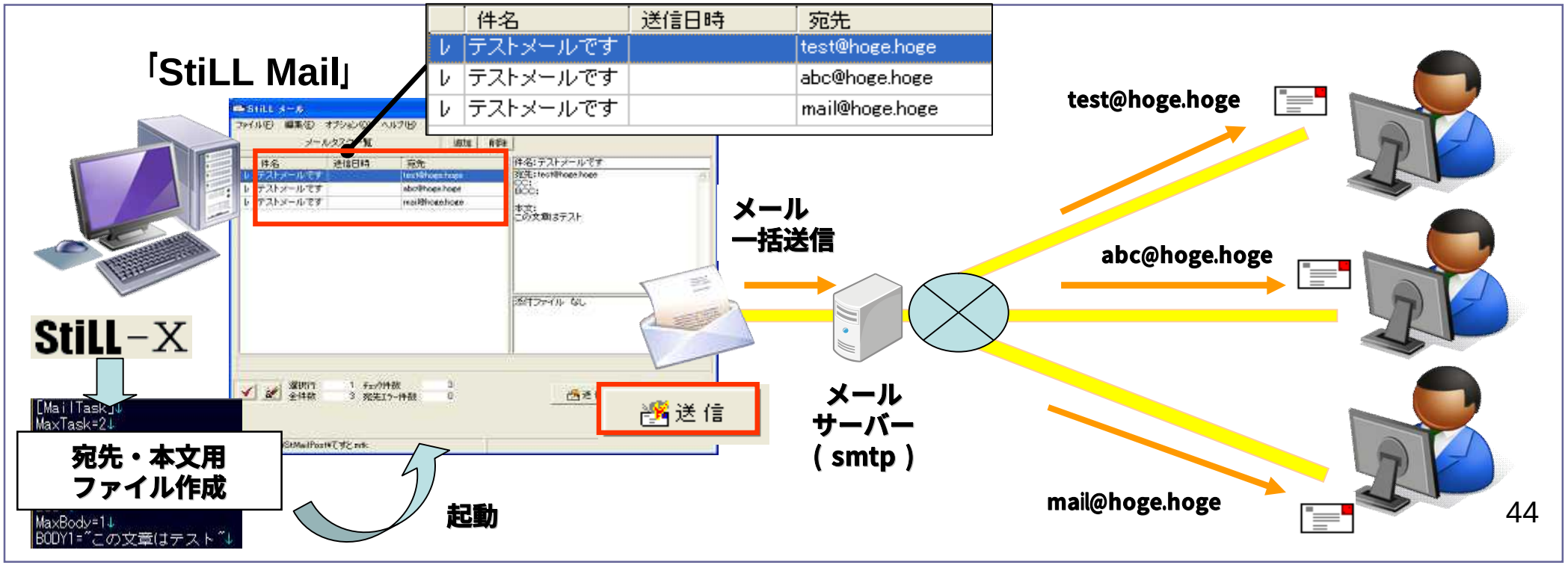
概要

①メールの送信を可能にするアプリケーションプログラムです。

特長

①「StiLL Mail」を使うとメールの一括送信が可能になります。

② StiLLと連携することにより、Excelの中にあるメールアドレス、文章等を連動する、一括メール送信やシステム連動送信をおこなうシステムが可能です。



Outlook Becky でプログラム化はダメ！　だから

「StiLL Get Mail」

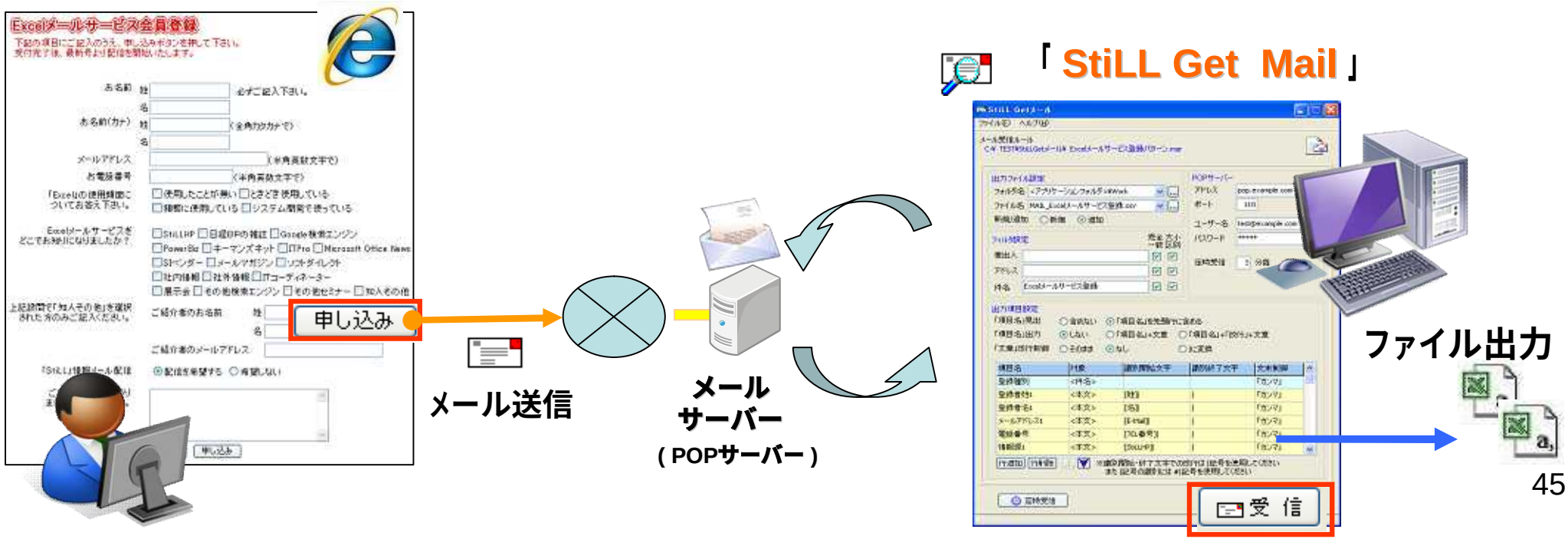
※Excelアプリではありません

概要

①メールサーバーからMailデータを検索、取得が可能なアプリケーションプログラムです。

特長

①「StiLL Get Mail」で設定したルールによるメール受信とテキストファイルへの出力が可能です。
②StiLLとの組み合わせでメール受信連携のシステムも可能です。



「StiLL-X」How to Use ご紹介

「StiLL-X」How to Use

ご好評いただいています!!!

ハウツーテンプレートシステム説明は事例研究フォーラムにて毎回実施します!

IT活用リテラシーツール

適応種類 StiLL Developers、Professional or Standard
自分で作る or ハウツーテンプレートを買って使う、直す

ダウンロード(無料)して
いろいろ試してみる!

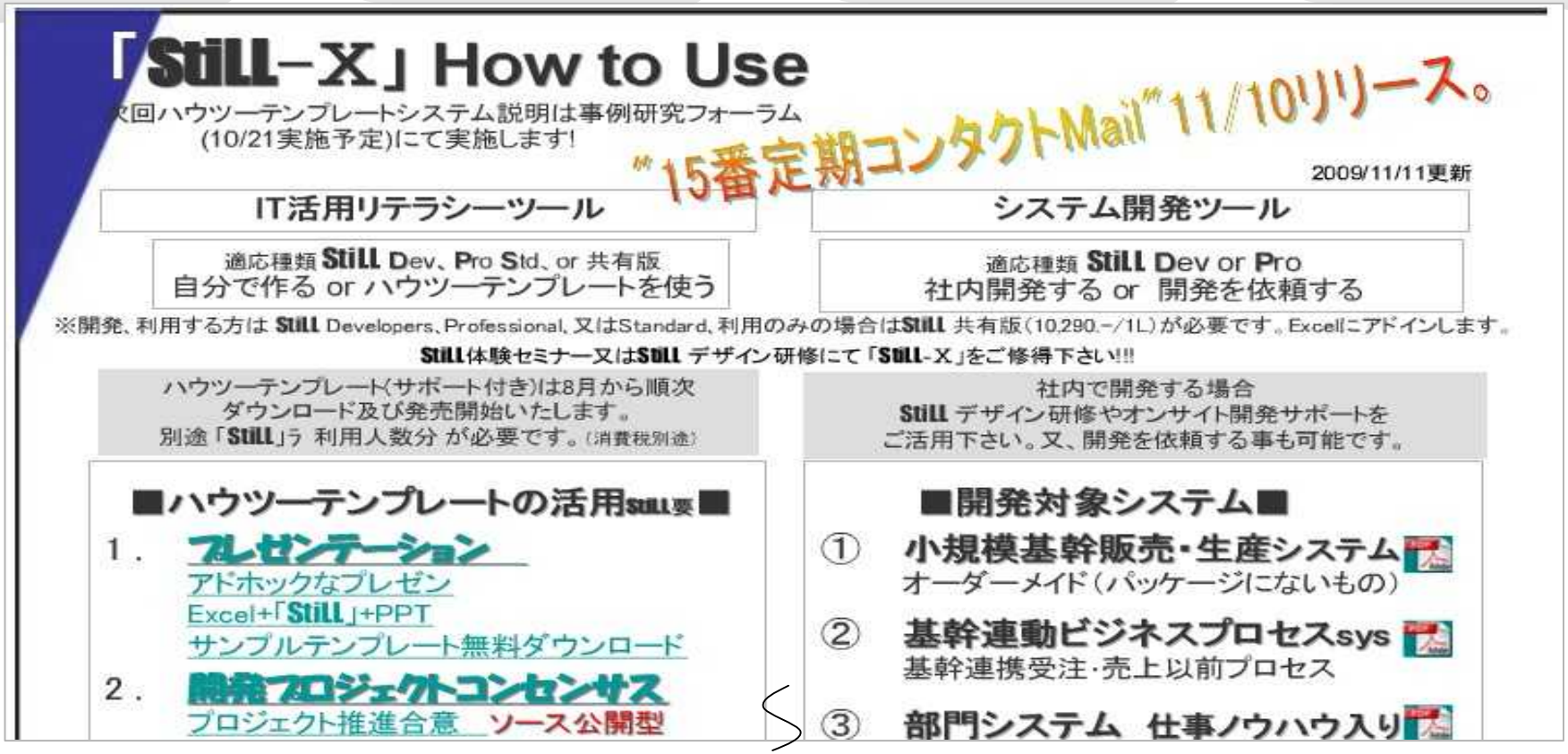
購入して使う
直して使う!

システム開発ツール

適応種類 StiLL Developers or Professional
社内開発する or 開発を依頼する

どんなシステムが構築
可能か確認する!

社内開発か!
依頼するか!



「定期コンタクトメール」体験版や「StiLL-Ｘ」体験版

※アンケートご記入者の方にだけ!（「StiLL-Ｘ」の体験版はホームページダウンロード実施していません!）

上記体験版をダウンロードして試用されませんか?

但し、メールソフトは

「Outlook・Outlook Express・Windowsメール」

限定です。

・ダウンロードURL：**https://wn.cococica.com/ili-presentation/ContactMailT.xls**

※下記メールが届いてからダウンロード（2010/3/23から―2010/3/26まで限定）お願い致します。

★起動方法

★ご購入方法を記述予定

※当フォーラムにご参加された方には、後日上記URLが記載されたお礼メールをお送り致します。

※テンプレートをお使いいただける環境が無い方の為に、StiLL体験版をご用意しています。
必要な方はフォーラム終了後にお申し出ください。

ソリューションコンテンツ

株式会社 Imaoソフト	トーテック・アメニティ株式会社	アスプローバ株式会社	アイエルアイ総合研究所 「StiLL-X」・Xcelsius
■「StiLL」適応システム構築診断 ■「StiLL」開発御見積り等	■TPiCS-X 連動生産ダッシュボード TPiCS-X ダッシュボード評価版を提供いたします。	■アスプローバ評価版を提供いたします。	■StiLL体験セミナー(ハンズオン)にご来場下さい。 ※StiLL体験版差し上げています。
■「StiLL」によるシステム開発 ■「StiLL」開発支援業務受託 ■その他アプリ開発 ■その他インフラ開発	■TPiCS-X システム開発サポート ■その他アプリ開発 ■その他インフラ開発	■アスプローバ ■構築設定 ■カスタマイズ ■教育・研修	■「StiLL-X」設計・開発ツール ■「StiLL-X」システム請負開発 ■「StiLL-X」ビジネステンプレート ■BI ダッシュボードツール システム開発 ■システム構築相談 教育・研修

Office2010

http://www.microsoft.com/japan/office/2010/default.mspx

■Excel2010　パワフルで視覚的なデータ分析を作成

Excel 2010 **の新しいデータ分析とビジュアル化機能で、データの重要なトレンドを追跡し把握します。新しいスパークライン機能は、ワークシートのセル内に小さなグラフを埋め込んで、データの視覚表現を明瞭かつコンパクトに仕上げます。スライサーを使えば、ピボットテーブルのデータを複数の層に絞り込めるので、書式設定の時間を減らして分析に専念できます。**

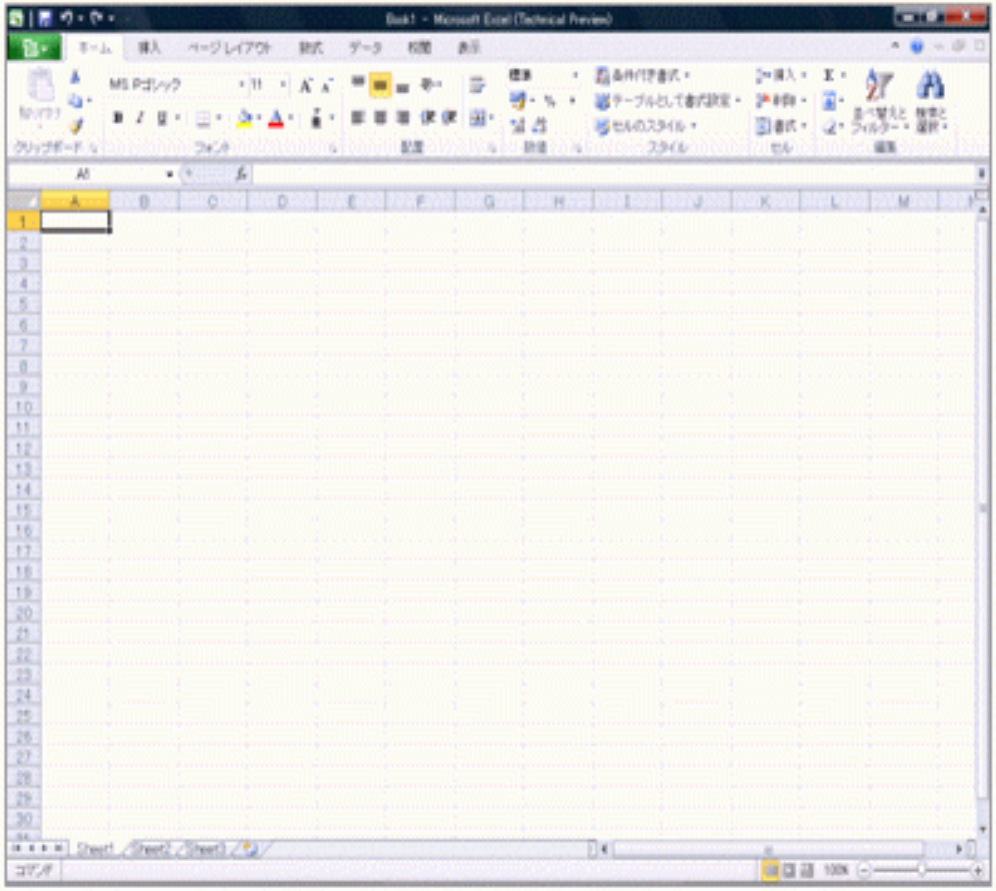
■Microsoft Office Web Apps

Office 2010 **の利用シーンを** Web **上に拡大します。**Word、Excel、PowerPoint、OneNote **のファイルをオンラインで保存して、表示、編集、共有が** Web **上で行えます。**

※VBA**はなし**

※Excel2003 **と共存するので**
機能、関数、ファイルの大きさ等
利用するうえでご注意ください。

「StiLL-**X**」v1.0 **は**32**ビットであれば**
テクニカルプレビュー版では動作しています・・・?



Excel2010テクニカルプレビュー版

『Office 2010』、64ビット版では旧版アドインの多くが動作せず

Microsoft は4日、今春発売予定の『Office 2010』について、優待アップグレード キャンペーンを開始すると発表した。3月5日からの対象期間中に『Office 2007』を購入すると、Office 2010 へ無料でアップグレードできるという。[完全無料は Office 2010 のダウンロード版のみで、パッケージ版は実費が必要。一般発売は米国では6月の予定。]

しかし、この『Office 2010 Technology Guarantee』と銘打ったキャンペーンの FAQ には、うっかり見過ごしてしまいそうな注意事項が書かれている。一般ユーザーや企業の IT 担当者の多くが知っておくべき内容だ。

それによると、Office 2010 の64ビット版をインストールした場合、従来の32ビット版 Office で動いていたアドインの多くが動作しなくなるという。

FAQ にはこう書いてある。「お使いの OS が32ビット版でも64ビット版でも、ほとんどのユーザー様には32ビット版の Office 2010 をインストールされるよう、強くお勧めします。現在のところ、一般的な Office のアドインの多くが64ビット版では動作しないためです」

「64ビット版の Office 2010 は、非常に大容量の文書やデータセットを日常的に扱い、『Excel 2010』で2GB を超えるメモリを使う必要のあるユーザー様向けにご提供いたします」

FAQ には続けてこう書かれている。「64ビット版の Office 2010 では技術上の問題が発生する可能性があり、インストールするには、お使いのパソコンの OS が64ビット版に対応している必要があります」

■おわりに

真の
ITビジネス
活用
実現!!!

■Microsoft Windows2008Server Windows 7
Office2010（ライセンスは5/12発売予定）のコンセプトに
ご注目下さい。新Windowsや新Office が変わりました!

■予定 次回事例研究フォーラム　　テーマ: ITビジネス活用

2010/4/21（水） 第12回	「StiLL-X」による業務システム構築のポイント	場所	費用
ソリューション事例1	■Excel、Accessのプログラム VBAの見える化による プログラム作成リテラシーとその管理 ◆集計･分析編　◆業務システム開発	東京国際 フォーラム	無料 定員 50名 申込 状況
ソリューション事例2	■仮想デスクトップ アプリケーション ◆Business Menu Win グランドデザイン型 仕事推進ポータルシステム ◆Excelと「StiLL-X」による経営ダッシュボード構築		
StiLLプログラム開発 事例研究	■Mailマーケティングシステム Part II ◆ご購入サポート　◆販売8階梯Mail　◆顧客Mail		
「StiLL-X」How to Use	「定期コンタクトメール」のご案内と使い方		

■これからのアライアンス推進　　== 課題･解決型ユーザー･ソリューション事例研究フォーラム ==
SIベンダー、SIerとの共催 パッケージやERP開発企業とのアライアンス
基幹パッケージ･ミドルウェアパッケージ企業との連携 etc. ご興味ございましたらお問合せお願いします。
◆「StiLL」との上手なお付合いを今後ともよろしくお願い致します。
◆ お客様やお知り合いとお誘い合わせの上ご来場お待ち致しております。